



令和4年度 上田市・千曲市広域シェアサイクル 社会実験の結果概要

令和5年3月

信州地域デザインセンター（UDC信州）
上田地域シェアサイクル活用推進協議会
千曲市観光交流課



1. 社会実験の概要

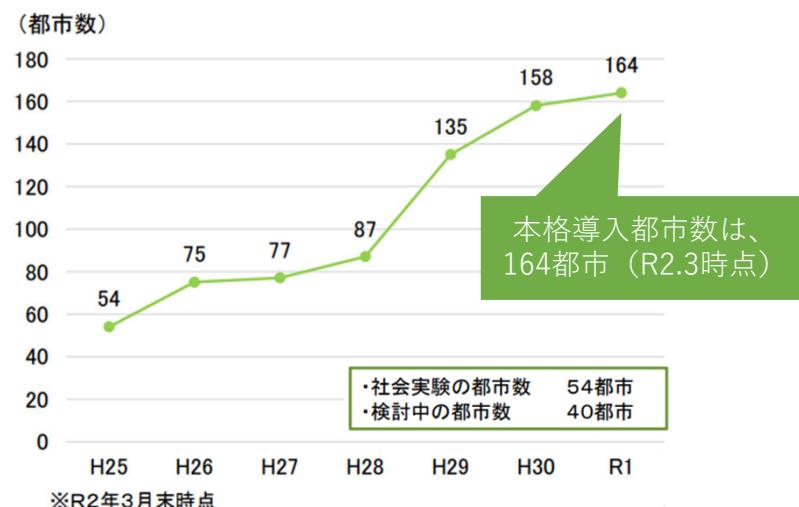


- ◇上田市・千曲市には、豊富な観光資源があるものの、そこに至る二次交通手段が不足しており、ポテンシャルを活かしきれているとは言えない状況。
- ◇長野県や民間事業者と連携し、しなの鉄道沿線地域の回遊性向上に向け、令和3年度から継続して、新しい交通（シェアサイクル）のあり方や公民連携による事業化の方向性について検討。また、長野県ゼロカーボン戦略に掲げた、「社会変革、経済発展とともに実現する持続可能な脱炭素社会づくり」にシェアサイクルがどの程度有効か検証。

○シェアサイクルとは・・・

シェアサイクルは、地域内に設置された複数のサイクルポート（駐輪場）を利用して、共有自転車を好きなタイミング、好きな場所で、好きな時間利用できる利便性の高い交通システムであり、公共交通の機能を補完し、観光振興や地域の活性化等に資するものです。

【シェアサイクルの導入都市数の推移】



出典：国土交通省資料より

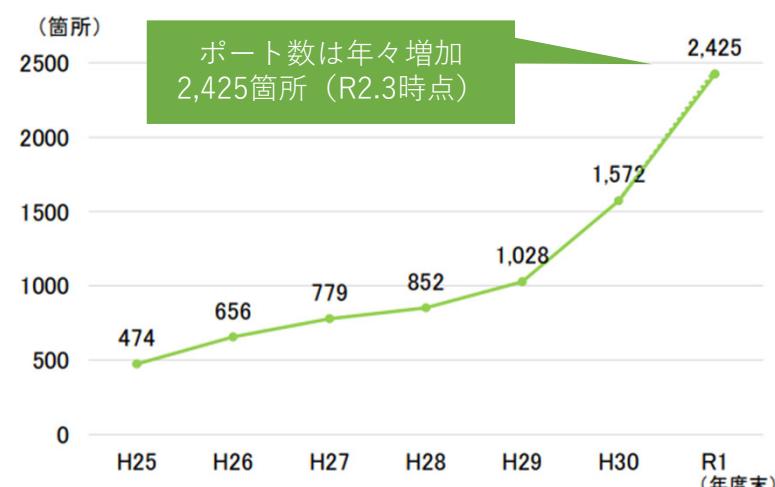
【松本市の事例】



【金沢市の事例】



【サイクルポート設置数の推移】



出典：国土交通省資料より

2) 社会実験の概要

◇令和4年度「上田市・千曲市広域シェアサイクル社会実験」は、**7月1日～12月18日の171日間、自転車90台、サイクルポート22箇所**で実施。

◇広域社会実験として、**両市で貸出・返却が可能**なシステムを導入。

【社会実験の概要】

項目	上田市	千曲市	
社会実験名称	上田市・千曲市広域シェアサイクル社会実験		
実施期間	令和4年7月1日（金）～12月18日（日） ※171日間		
自転車台数	45台（電動アシスト車）	45台（電動アシスト車）	
サイクルポート	11箇所（赤下線部は非接触充電ポート） U-1:上田駅お城口水車前 U-2:上田市観光会館 U-3:北国街道柳町前 U-4:中央公民館 U-5:アリオ上田 U-6:イオンスタイル上田	11箇所（赤下線部は非接触充電ポート） U-7:信濃国分寺駅 U-8:下之郷駅 U-9:塩田町駅 U-10:別所温泉駅 U-11:上田原駅	C-1:千曲市総合観光会館 C-2:戸倉駅駐輪場 C-3:千曲駅 C-4:屋代駅前駐車場 C-5:屋代高校前駅駐輪場 C-6:千曲市森将軍塚古墳館
事業主体	上田地域シェアサイクル活用 推進協議会（事務局：上田市）	千曲市	
運営事業者	株式会社 ハビタット 株式会社 日本海コンサルタント	一般社団法人 信州千曲観光局 株式会社 日本海コンサルタント	
運営支援	信州地域デザインセンター（UDC信州）		

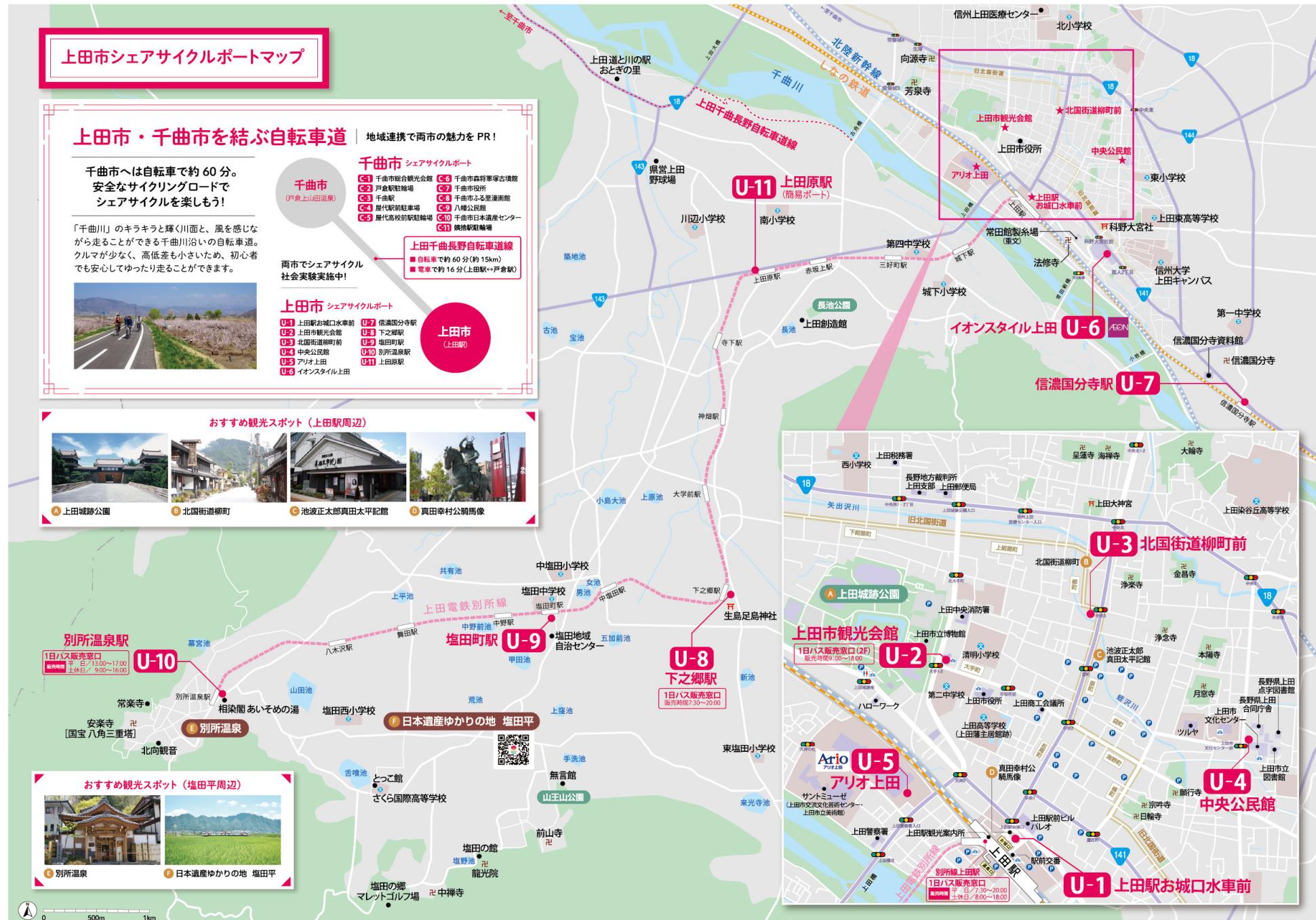
- ◇自転車台数は60台→90台に増車し、ポート数も10箇所→22箇所に増設。
- ◇非接触充電ポートは12箇所を整備し、シェアサイクル事業のゼロカーボン化を推進するために、太陽光による充電ポートを3箇所に設置。

【社会実験の概要比較】

項目	R3年度	R4年度
実施期間	172日間 令和3年7月1日（木）～12月19日（日）	171日間 令和4年7月1日（金）～12月18日（日）
自転車台数	60台（上田市：30台、千曲市：30台）	90台 （上田市：45台、千曲市：45台）
サイクルポート	10箇所（上田市：5箇所、千曲市：5箇所）	22箇所 （上田市：11箇所、千曲市：11箇所）
非接触充電ポート	10箇所（上田市：5箇所、千曲市：5箇所）	12箇所 （上田市：6箇所、千曲市：6箇所）
太陽光パネル	無し	3箇所 （屋上型：2箇所、舗装型：1箇所） U-1:上田駅お城口水車前（屋上型） U-2:上田市観光会館（舗装型） C-1:千曲市総合観光会館（屋上型）

3) サイクルポートの位置（上田市）

【上田市のサイクルポート位置】



3) サイクルポートの位置 (千曲市)

【千曲市のサイクルポート位置】



4) サイクルポートの設置状況 (上田市)

□ 非接触充電ポート

【U-1.上田駅お城口水車前】



【U-2. 上田市観光会館】



【U-3. 北国街道柳町前】



【U-4. 中央公民館】



【U-5. アリオ上田】



【U-6. イオンスタイル上田】



4) サイクルポートの設置状況 (上田市)

□ 非接触充電ポート

【U-7. 信濃国分寺駅】



【U-8. 下之郷駅】



【U-9. 塩田町駅】



【U-10. 別所温泉駅】



【U-11. 上田原駅】



4) サイクルポートの設置状況（千曲市）

非接触充電ポート

【C-1. 千曲市総合観光会館】



【C-2. 戸倉駅駐輪場】



【C-3. 千曲駅】



【C-4. 屋代駅前駐車場】



【C-5. 屋代高校前駅駐輪場】



【C-6. 千曲市森将军塚古墳館】



4) サイクルポートの設置状況（千曲市）

11

□ 非接触充電ポート

【C-7. 千曲市役所】



【C-8. 千曲市ふる里漫画館】



【C-9. 八幡公民館】



【C-10. 千曲市日本遺産センター】



【C-11. 姨捨駅駐輪場】



4) サイクルポートの設置状況（太陽光パネル）

12

- ◇シェアサイクル事業のゼロカーボン化を推進するために、**太陽光パネル+蓄電池による非接触自動充電システム**を導入。
- ◇屋上型パネルと舗装型パネルを上田市・千曲市に3箇所設置。

屋上型太陽光パネル

【U-1.上田駅お城口水車前】



【C-1. 千曲市総合観光会館】



舗装型太陽光パネル

【U-2.上田市観光会館】



5) 自転車・サイクルポートの概要

13

メインスイッチ



電動アシストバッテリー



使い方シール



ドレスガード



操作ディスプレイ



電子ロック



非接触充電サイクルラック



自転車側 給電パネル



※対応身長145cm以上

- ◇ **1回会員**は最初の30分を110円/回とし、その後30分ごとに110円が追加。
- ◇ **1日パス**は窓口販売が1,650円/日、WEB・コンビニ販売が1,430円/日。

※別途、割引プランを作成

会員登録して利用

1回会員

最初の30分
¥110/回(税込)

月額会員

基本料金
¥1,650/月(税込)
最初の30分
¥0/回

30分を超えるごとに110円ずつ追加

【1日パスカード】



※ 1日パスの販売窓口は、下記の通り
上田市→上田市観光会館、別所線上田駅・下之郷駅・
別所温泉駅
千曲市→千曲市総合観光会館

会員登録しないで利用 (1日パス)

WEBサイトから購入

WEBサイトで事前購入が可能。
「WEB開錠コード」が発行されます。
¥ 1,430/日(税込)



コンビニでの購入

「コンビニ端末」で
購入可能です。

¥ 1,430/日(税込)



セブンイレブン
マルチコピー機



ファミリーマート
Famiポート

窓口での購入

現金で簡単に。
「カードキー」が発行されます。
基本料金 ¥1,650/日(税込)

販売窓口は裏面のポートマップを参照ください。



◇ 4時間バスや学生割引、グループ割など、ニーズに応じた料金体系を追加。

利用種別	個人会員（アプリ登録者）		1日バス			法人会員
	1回会員	月額会員	有人窓口	コンビニ	WEBサイト	
基本料金	0円／月	1,650円／月	1,650円／日	1,430円／日	1,430円／日	1枚2,200円／月
利用料金	最初の30分 110円／回	最初の30分 0円／回	—	—	—	最初の30分 0円／回
超過料金	110円／30分	110円／30分	—	—	—	110円／30分
決済方法	クレジットカード キャリア決済		現金等（販売場所によって他の方法も可）	レジにて支払い	クレジットカード	請求書払い
販売場所	ドコモ・バイクシェア アプリ限定 		【上田市】 ・上田市観光会館 ・別所線上田駅、下之郷駅、別所温泉駅 【千曲市】 ・千曲市総合観光会館	  	専用WEBサイト 	—

■有人窓口限定 バス料金

割引種別	1日バス		4時間バス		(税込)
	学生割引 (大学生以下)	グループ割引 (家族・友人など)	大人	学生割引 (大学生以下)	
料金	1,000円/日 ※大学生、高校生 は学生証提示	2人 : 1,500円/人	1,000円/4時間	850円/4時間	
		3人 : 1,400円/人		※大学生、高校生は 学生証提示	
		4人～ : 1,300円/人			

【1日バスカード】



【4時間バスカード】



7) 会員登録方法

16

①スマホアプリのダウンロード
※下記QRコードからアプリストアにアクセス
※クレジットカードを準備して会員登録スタート



iOS
はこちら



Android
はこちら

②新しいアカウントを作る
※他エリアの会員の場合はそのまま利用可能だが当該エリアでのアカウント作成を推奨



③マイエリアを選択
※「上田市・千曲市広域シェアサイクル」を選択する



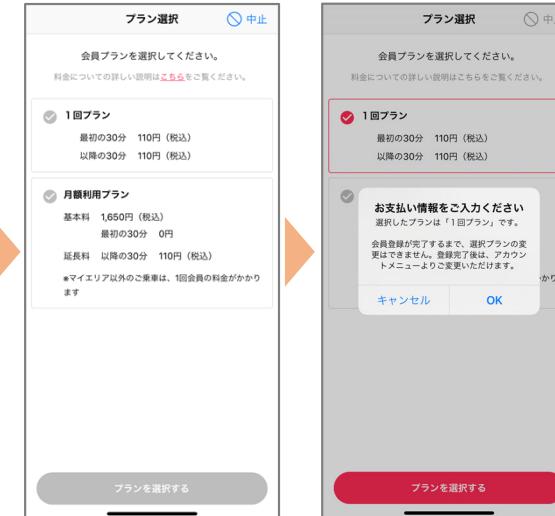
④規約に同意して会員情報入力
※ユーザーID、パスワード、氏名、メールアドレスを入力



⑤携帯電話番号・認証番号入力
※携帯電話番号を入力してSMSで認証番号(4桁)を受け取り入力



⑥料金プランを選択
※「1回プラン」か「月額プラン」を選択
※会員登録完了後でも変更可能



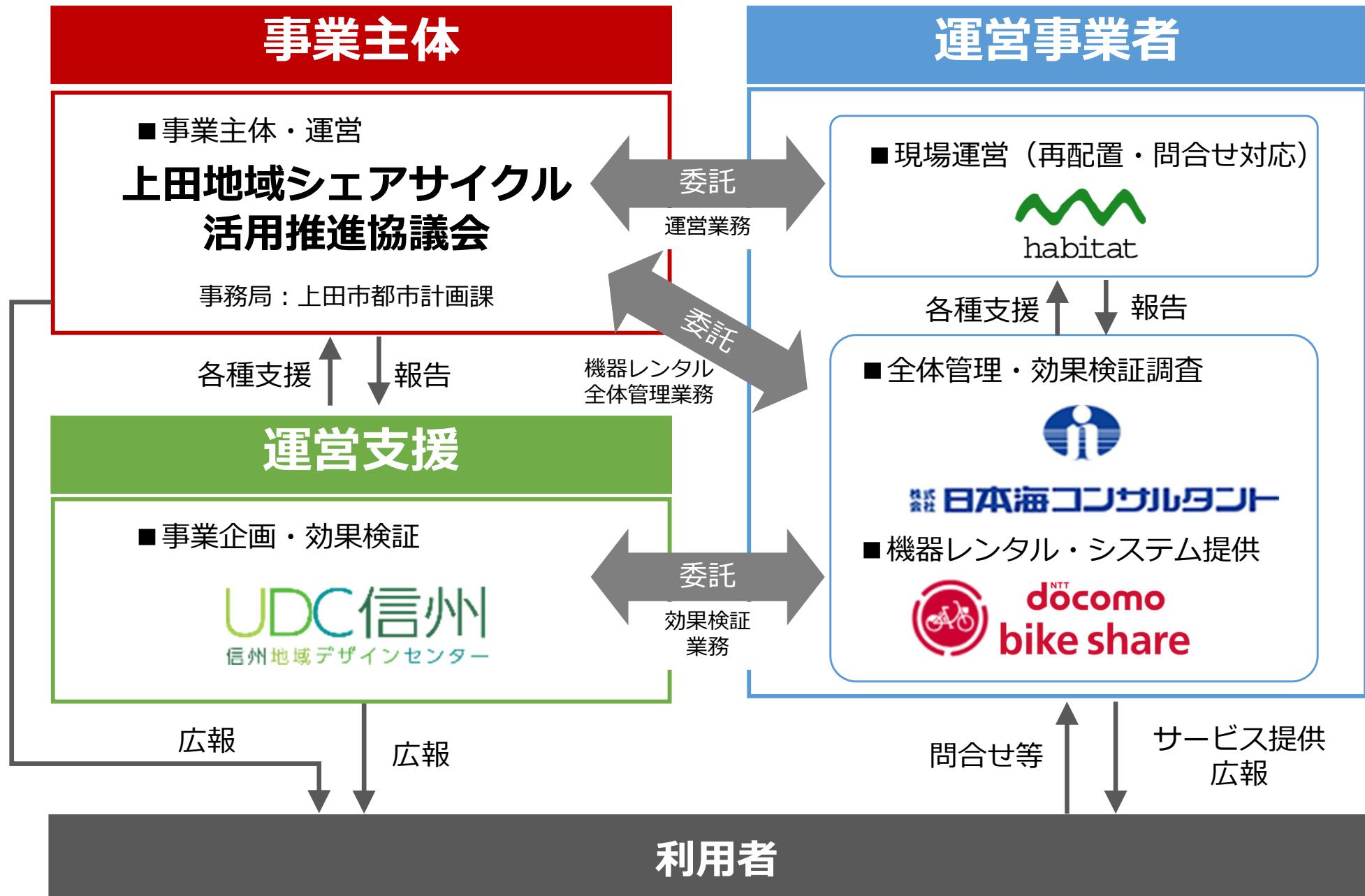
⑦支払い情報入力
※クレジットカード情報を入力して完了(デビットカード・プリペイドカード不可)



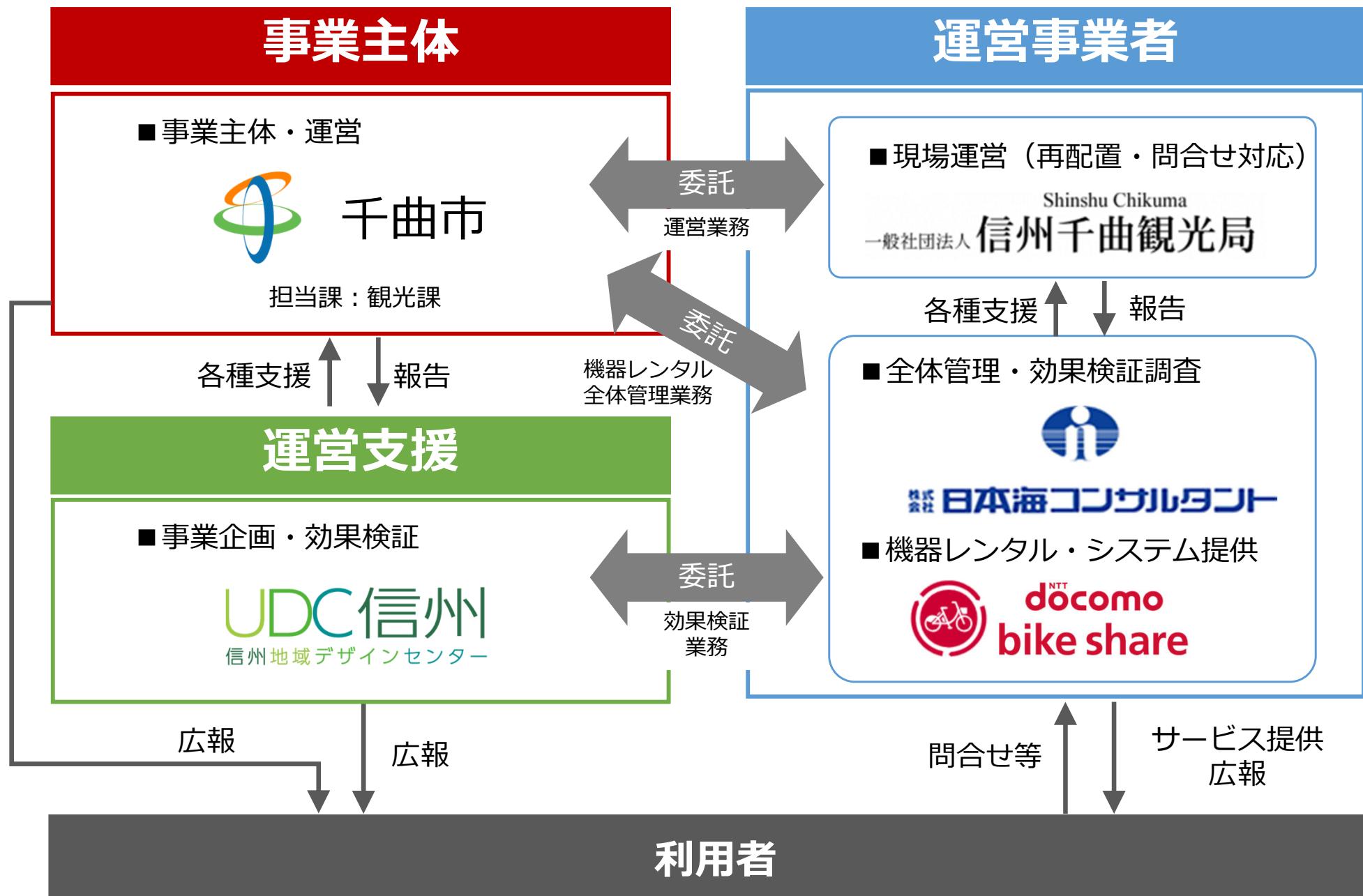
※利用履歴の確認、料金プランの変更、ICカード等の自転車開錠用の鍵としての登録は「アカウント」メニューから可能。

8) 実施体制 (上田市)

17



※本事業には「長野県地域発元気づくり支援金」を活用



2. 利用促進



◇上田市では、7/1（金）のオープニングイベントに始まり、市内の各種イベントでPRブースの設置、環境配慮型ポートの報道説明会の開催など、シェアサイクルの利用促進を図った。

【信州上田たろうフェスティバル】



【うえだ環境フェア】



【上田城紅葉まつり】



【上田市での利用促進策】※主なもの

7/ 1 (金)	オープニングイベント
7/10 (日)	山王山公園での臨時ポート設置（和太鼓の祭典＆信州上田・塩田平ノルディックウォークと併催）
7/29 (金)	「シェアサイクル×まちづくり」上田染谷丘高等学校の探究活動
9/15 (金) ~ 9/23 (金祝)	しなの鉄道中吊り広告掲載 街中での謎解き企画（シェアサイクルとの連携）
9/24 (土)	信州上田たろうフェスティバルでのPR
10/1 (土)	シェアサイクルガイドツアー（日本遺産エリア）
10/1 (土) ~ 10/15 (土)	別所線沿線での謎解き企画 うえだ環境フェア（出展しシェアサイクルをPR）
10/20 (木)	「上田駅お城口水車前」ポートへの移設
11/5~6 (日)	上田城紅葉まつり（VRを活用しシェアサイクルをPR）
11/7~8 (火)	+519worklodge臨時ポート設置（千曲市ワーケーションプログラム連携）
11/8 (火)	環境配慮型ポートの整備、報道説明会の開催
12/24 (土)	テレビ東京「土曜スペシャル」放送

2) 利用促進策（千曲市）

21

◇千曲市では、7/16（土）のちくま市モビリティFES2022でのPRに始まり、サイクリングツアーの開催や市内の各種イベントでPRブースを設置するなど、シェアサイクルの利用促進を図った。

【日本遺産サイクリングツアー】



【市役所でのPRブース】



【うまいもん市での試乗会】



【千曲市での利用促進策】

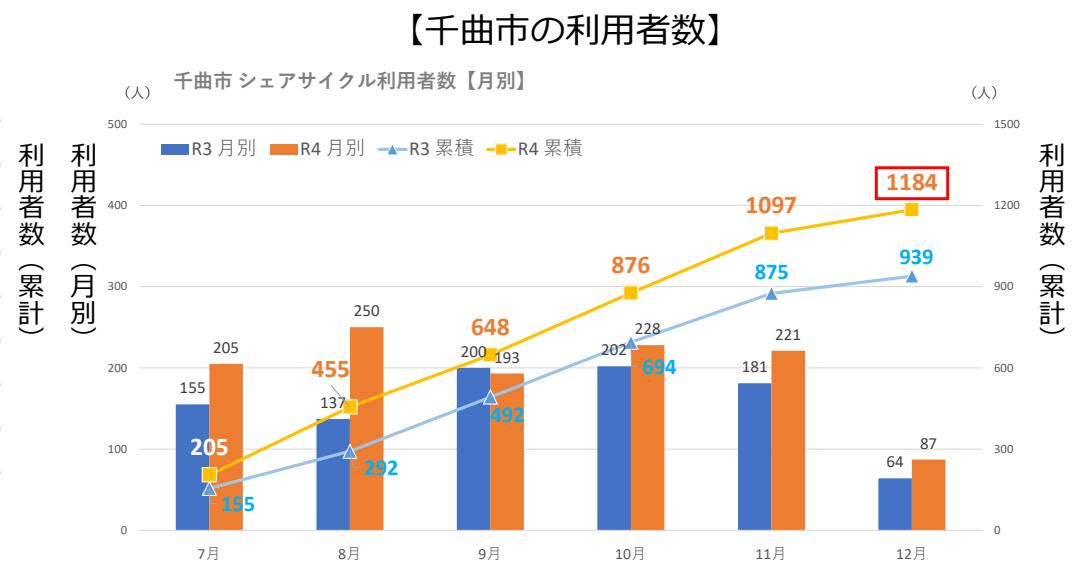
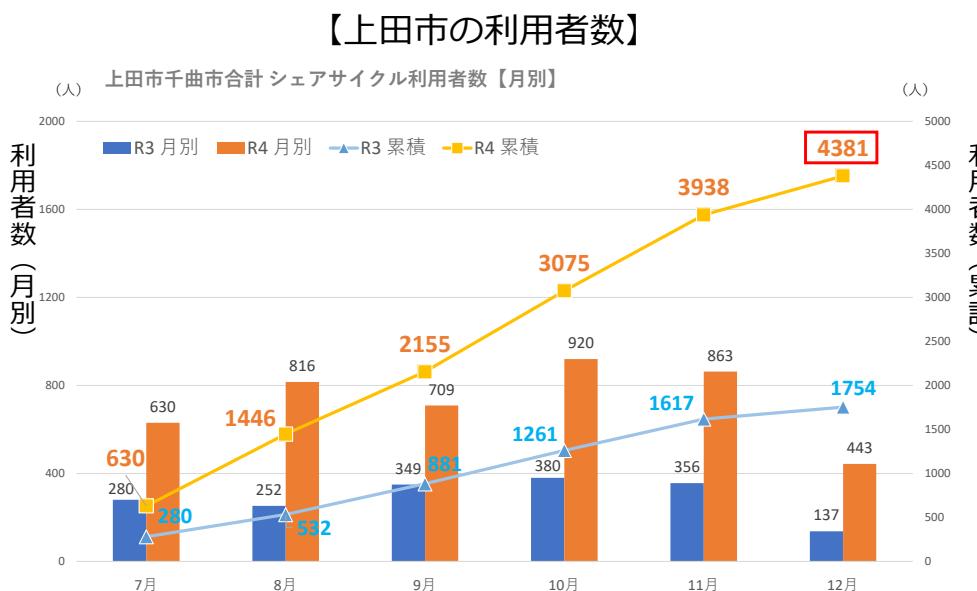
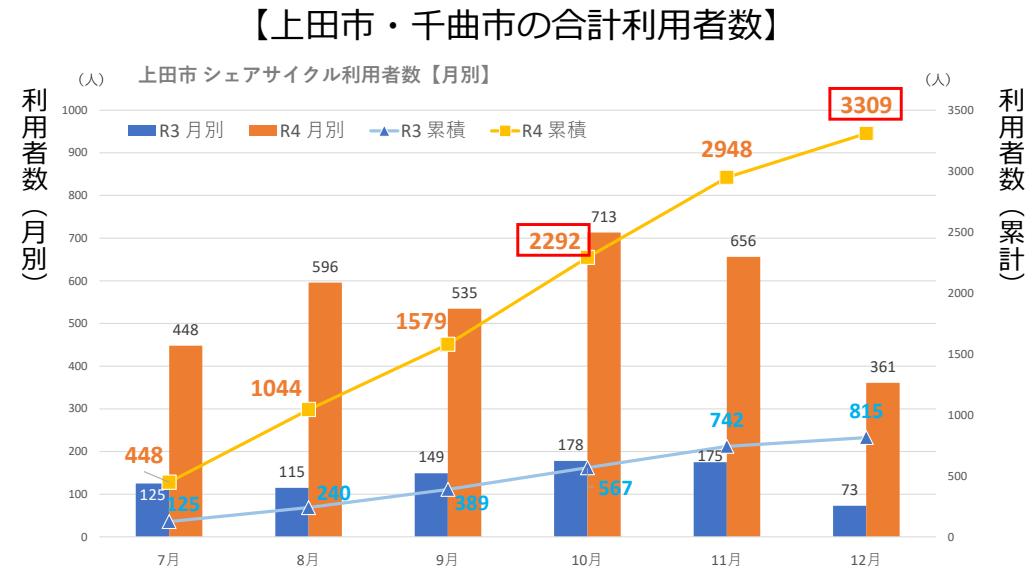
※主なもの

7月～	社会実験パンフレットを小中学生へ配布
7/16（土）	ちくま市モビリティFES2022でのPR
7/22（金）	千曲市日本遺産サイクリングツアー（すくだしエコツアー共催）
8/7（日）～	真夏のワーケーションシップにおける温泉とのMaaS連携
8/10（水）	茅野市役所によるシェアサイクル視察
8/26（金）	千曲市役所ガレリアでのPRブース設置
9月～	千曲市循環バスへのマグネット広告掲載
9/15（金）～	しなの鉄道中吊り広告掲載
10/1（土）	「姨捨駅駐輪場」ポートの開設、千曲市うまいもん市でのPRブース設置
10/8（土）	スイーツ通りサイクリングツアー
10/22（土）	芸術の秋アート通りサイクリングツアー
11/5（土）	紅葉パン通りサイクリングツアー

3. 利用実績



- ◇上田市・千曲市の合計利用者数は、累計で4,381人、日平均では25.6人/日。月別では10月が920人と最も多い。
- ◇都市別では、上田市が3,309人 (R3年比406%)、千曲市が1,184人 (R3年比126%)となった。

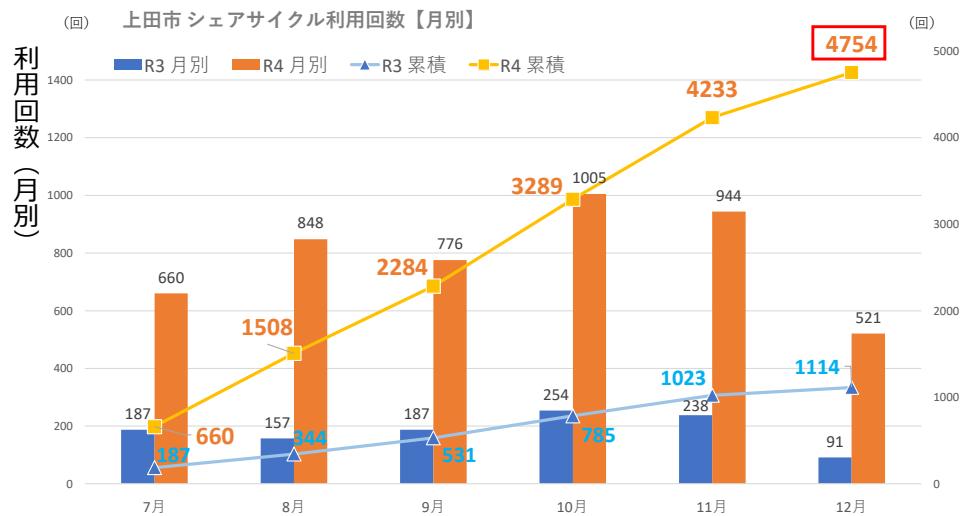


2) 利用回数

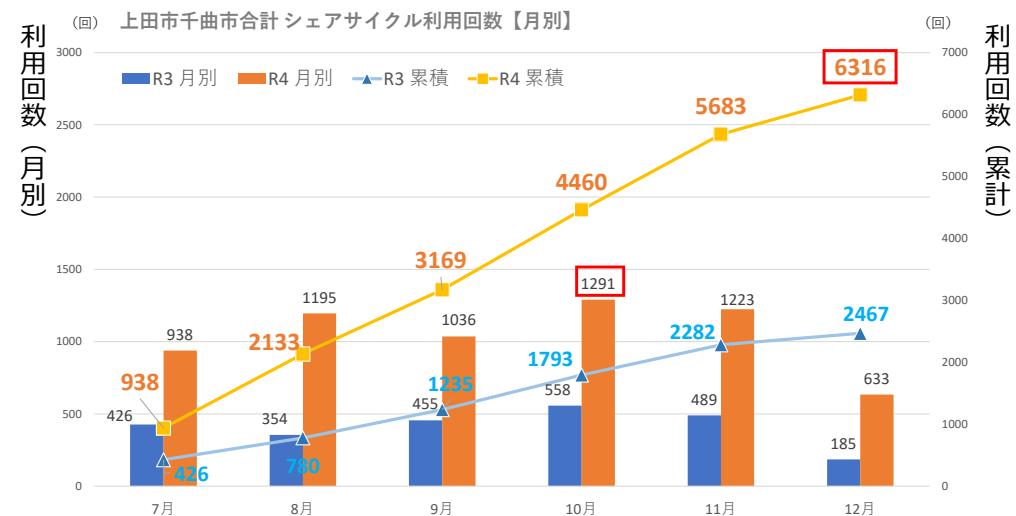
24

- ◇上田市・千曲市の合計利用回数は、
累計で6,316回、日平均では36.9回/日。月別では10月が1,291回と最も多い。
- ◇都市別では、上田市が4,754回 (R3年比427%)、千曲市が1,562回 (R3年比115%)となった。

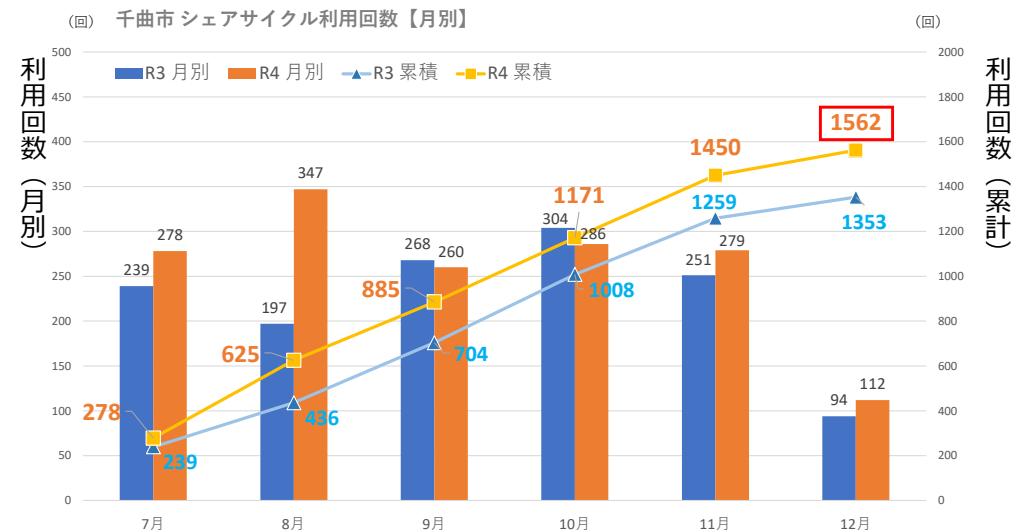
【上田市の利用回数】



【上田市・千曲市の合計利用回数】



【千曲市の利用回数】



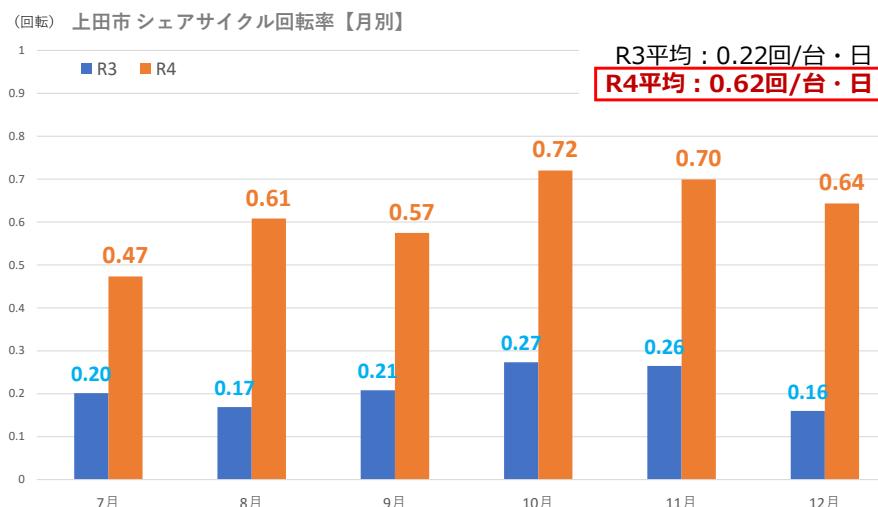
3) 回転率

25

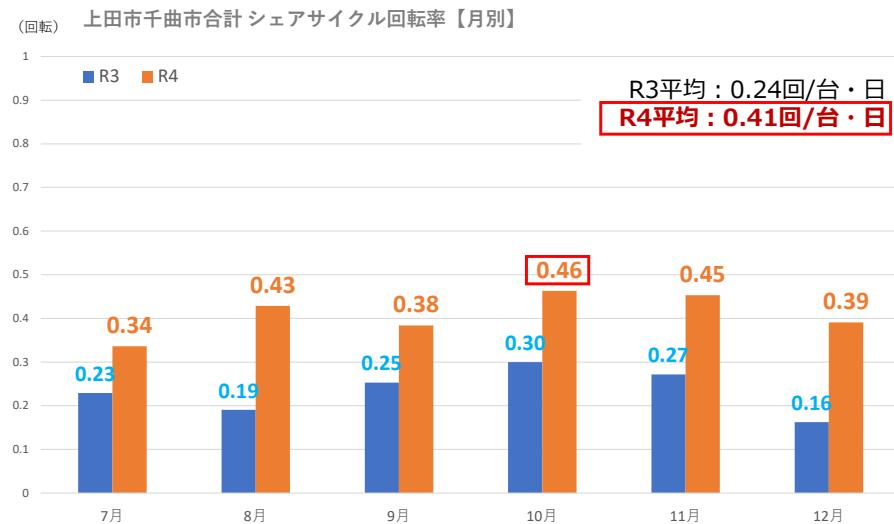
◇両市合計の『回転率』は、10月が0.46回/台・日と最も多く、期間中全体の回転率は0.41回/台・日となった。

◇都市別では、上田市が0.62回/台・日（R3年比282%）、千曲市が0.20回/台・日（R3年比76%）となった。

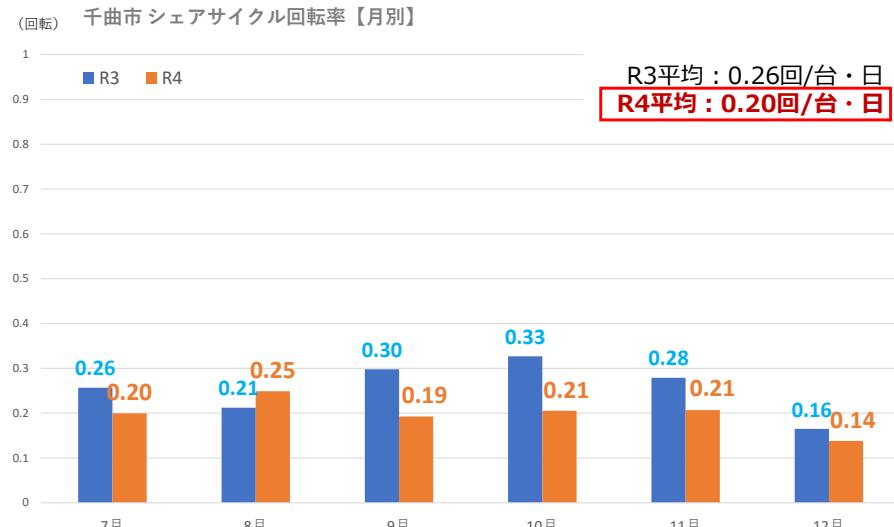
【上田市の回転率】



【上田市・千曲市の回転率】



【千曲市の回転率】



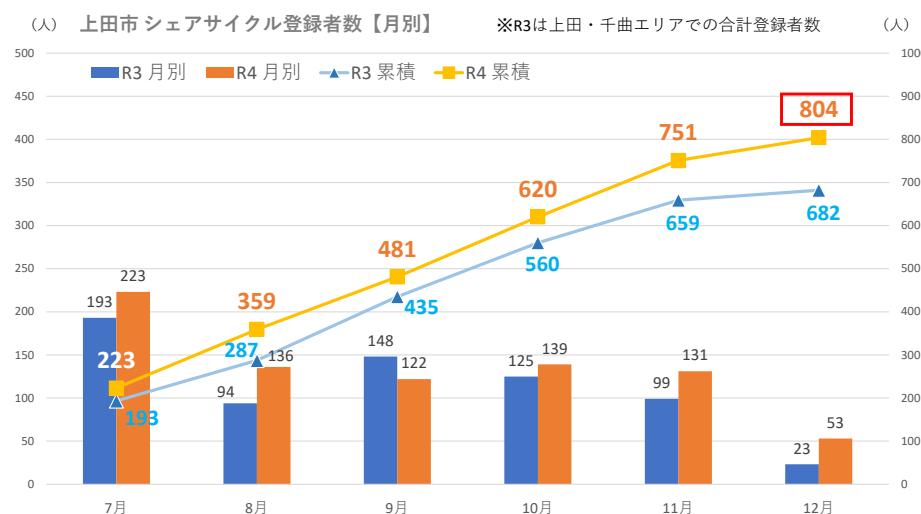
4) 登録者数

26

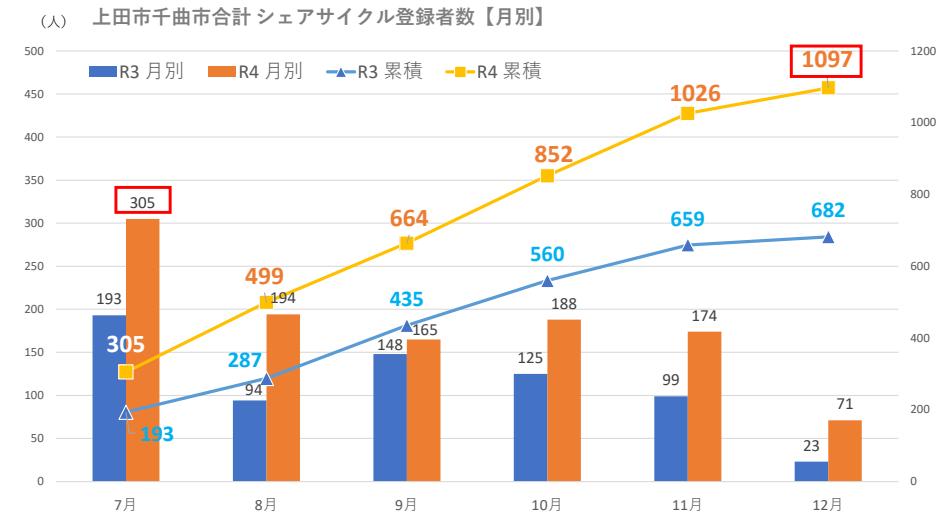
◇両市合計の『登録者数』は、7月が305人と最も多く、期間中全体では1,097人 (R3年比161%)となった。

◇都市別では、上田市で804人、千曲市で293人となった。

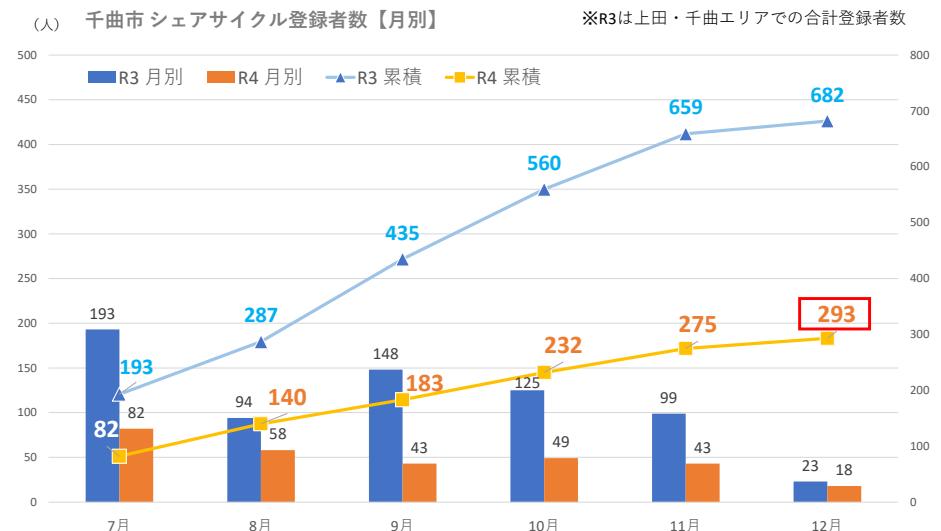
【上田市の登録者数】



【上田市・千曲市の登録者数】



【千曲市の登録者数】



5) サイクルポート別の貸出返却回数

◆ 『貸出返却回数』は、上田市で「上田駅お城口駐輪場」「中央公民館」が多く、千曲市で「千曲市総合観光会館」「屋代駅前駐車場」が多い。

【サイクルポート別貸出返却回数】

順位	貸出ポート	貸出回数
1	U-01.上田駅お城口水車前	1,471
2	U-04.中央公民館	782
3	U-02.上田市観光会館（上田城跡公園前）	487
4	U-03.北国街道柳町前（中央3丁目交差点）	433
5	U-05.アリオ上田	393
6	C-01.千曲市総合観光会館	386
7	C-04.屋代駅前駐車場	363
8	U-06.イオンスタイル上田	349
9	U-10.別所温泉駅	283
10	C-07.千曲市役所	279
11	C-02.戸倉駅駐輪場	249
12	U-07.信濃国分寺駅	176
13	U-08.下之郷駅	130
14	U-09.塩田町駅	96
15	U-11.上田原駅	80
16	C-03.千曲駅	72
17	C-05.屋代高校前駅駐輪場	44
18	C-10.千曲市日本遺産センター	41
19	C-06.千曲市森將軍塚古墳館	40
20	C-08.千曲市ふる里漫画館	28
21	C-09.八幡公民館	15
22	C-11.姨捨駅駐輪場	12
23	U-000.山王山公園 7/10（日）臨時ポート	5
合計		6,214

【サイクルポート別返却回数】

順位	返却ポート	返却回数
1	U-01.上田駅お城口水車前	1,617
2	U-04.中央公民館	660
3	U-05.アリオ上田	446
4	U-03.北国街道柳町前（中央3丁目交差点）	419
5	U-02.上田市観光会館（上田城跡公園前）	406
6	C-01.千曲市総合観光会館	393
7	C-04.屋代駅前駐車場	377
8	U-06.イオンスタイル上田	368
9	C-07.千曲市役所	290
10	U-10.別所温泉駅	269
11	C-02.戸倉駅駐輪場	266
12	U-07.信濃国分寺駅	170
13	U-09.塩田町駅	108
14	U-11.上田原駅	98
15	U-08.下之郷駅	86
16	C-03.千曲駅	57
17	C-05.屋代高校前駅駐輪場	48
18	C-06.千曲市森將軍塚古墳館	42
19	C-10.千曲市日本遺産センター	30
20	C-08.千曲市ふる里漫画館	27
21	C-09.八幡公民館	19
22	C-11.姨捨駅駐輪場	15
23	U-000.山王山公園 7/10（日）臨時ポート	3
合計		6,214

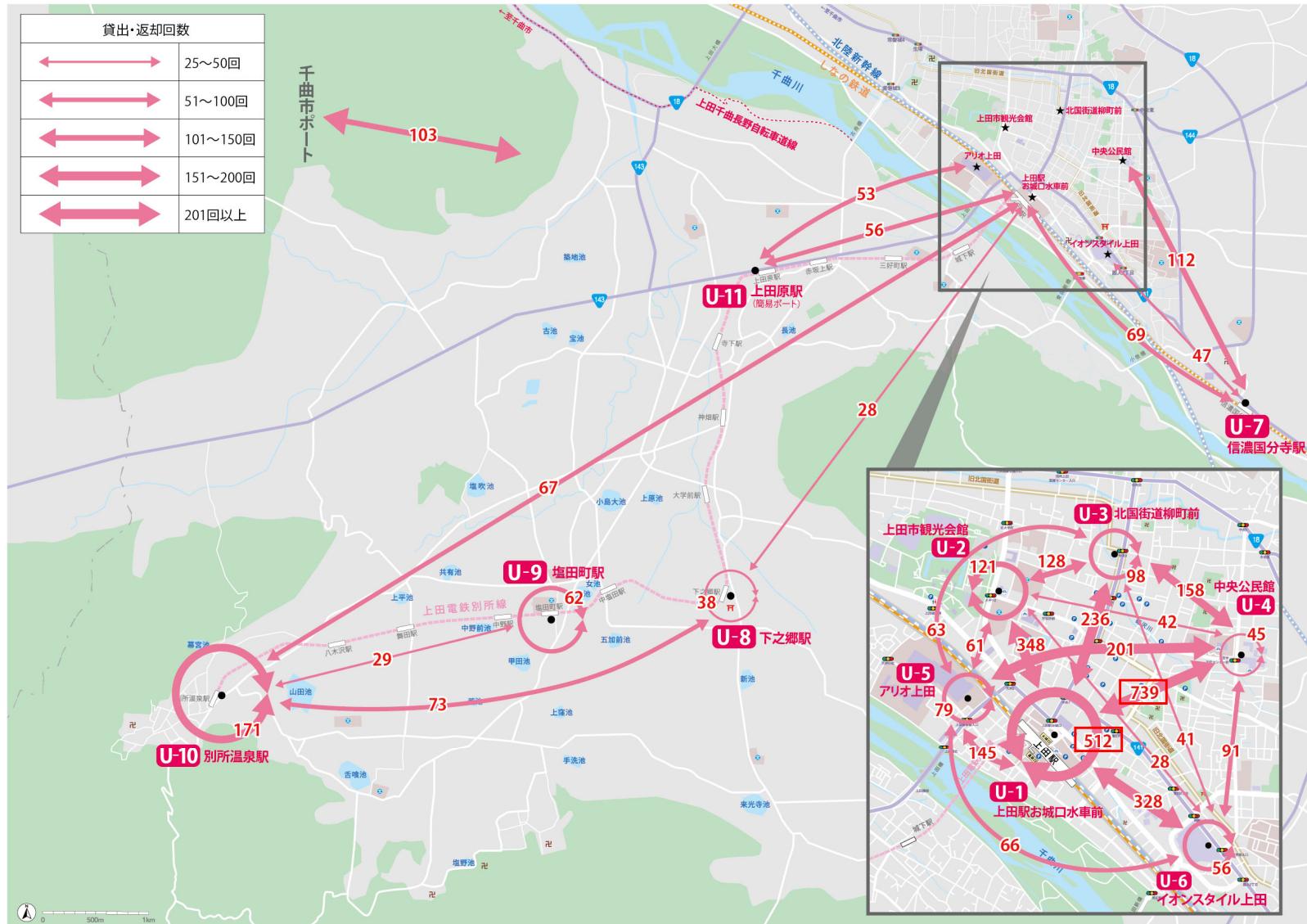
※上記のほか、貸出・返却ポートが識別不能なデータあり

6) サイクルポート間移動回数 (上田市)

28

◇上田市の『ポート間の移動回数（双方の合計）』は、「上田駅お城口水車前」 ⇄ 「中央公民館」 が739回と最も多く、次いで 「上田駅お城口水車前」 を発着とする移動が512回と多い。

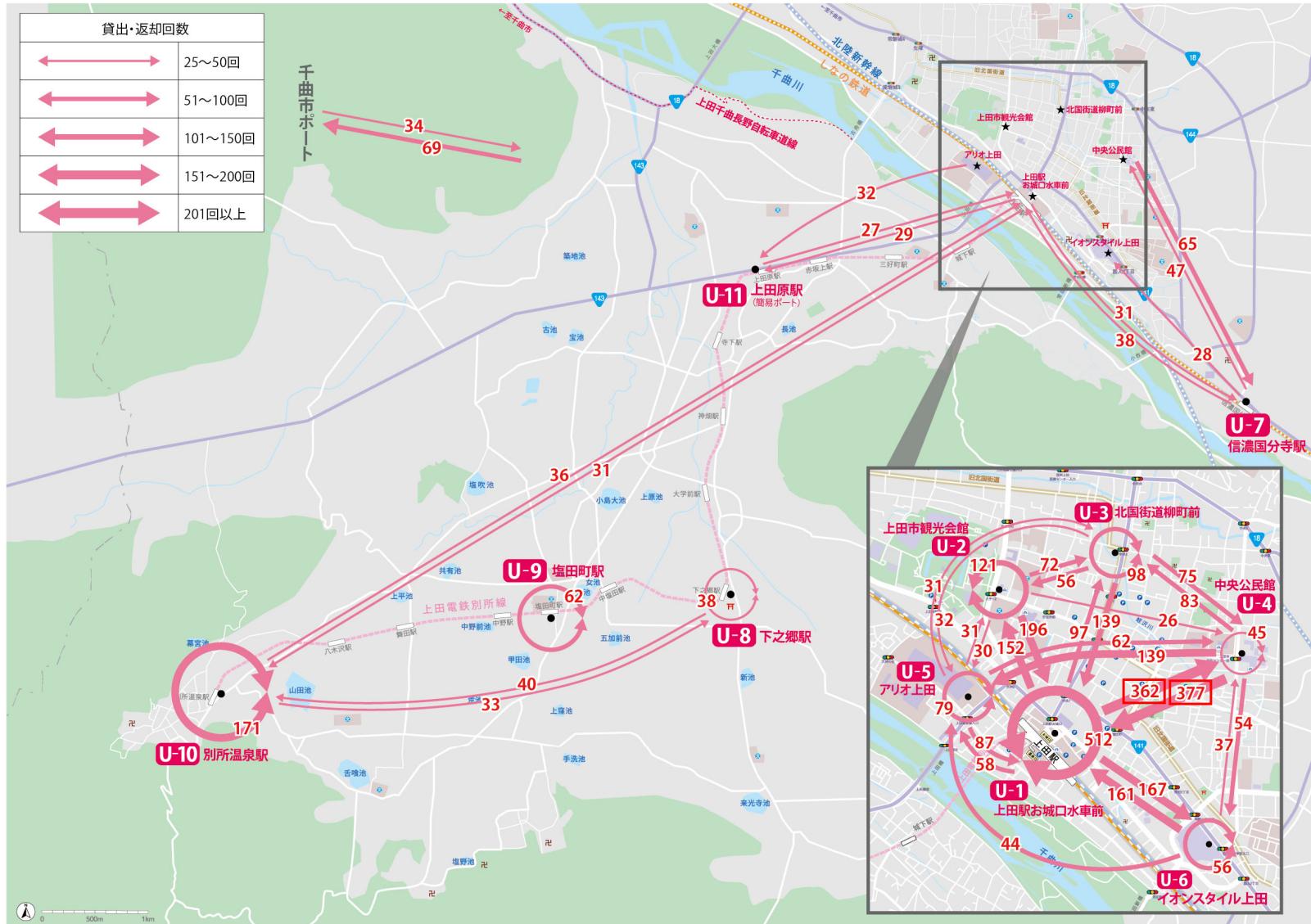
【サイクルポート間移動回数（双方の合計）】



6) サイクルポート間移動回数 (上田市)

◇上田市の『ポート間の移動回数（片道）』は、「中央公民館」⇒「上田駅お城口水車前」が377回と最も多く、次いで、「上田駅お城口水車前」⇒「中央公民館」が362回と多い。

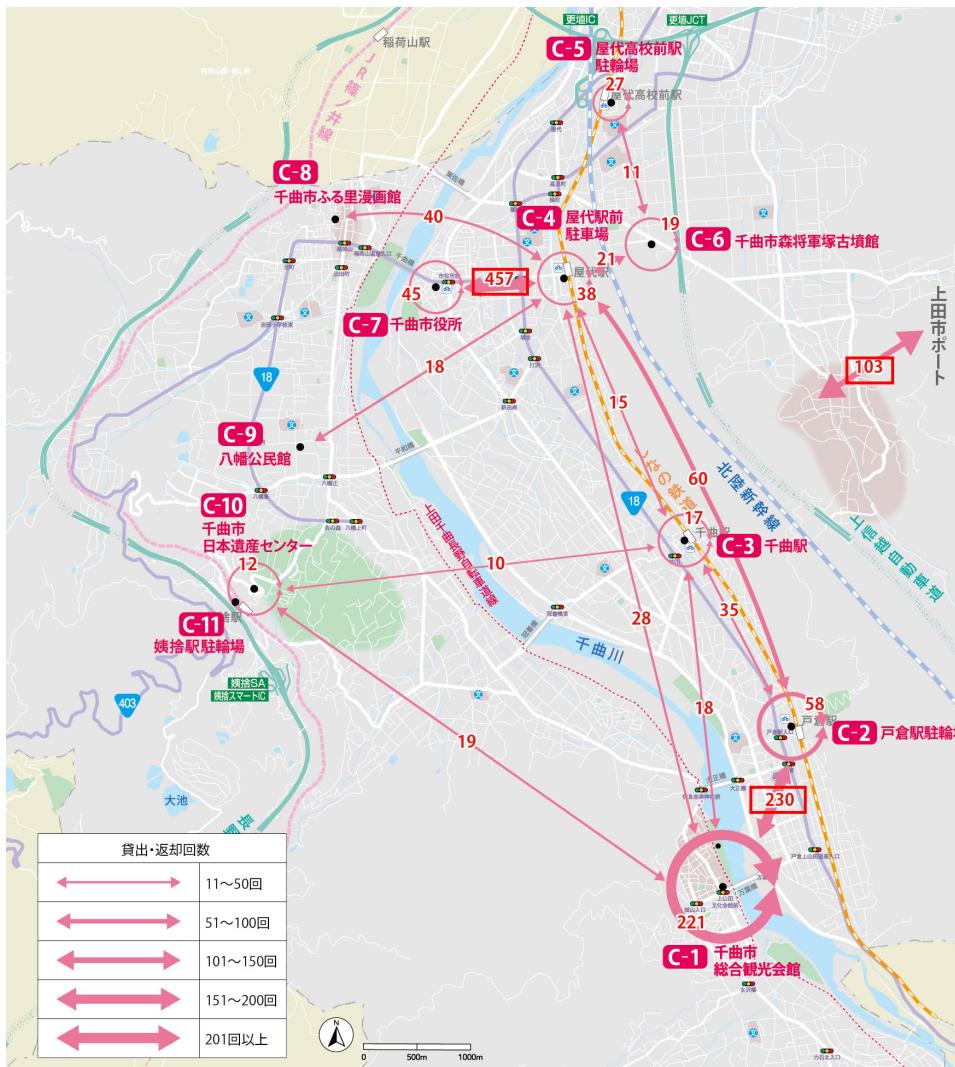
【サイクルポート間移動回数（片道）】



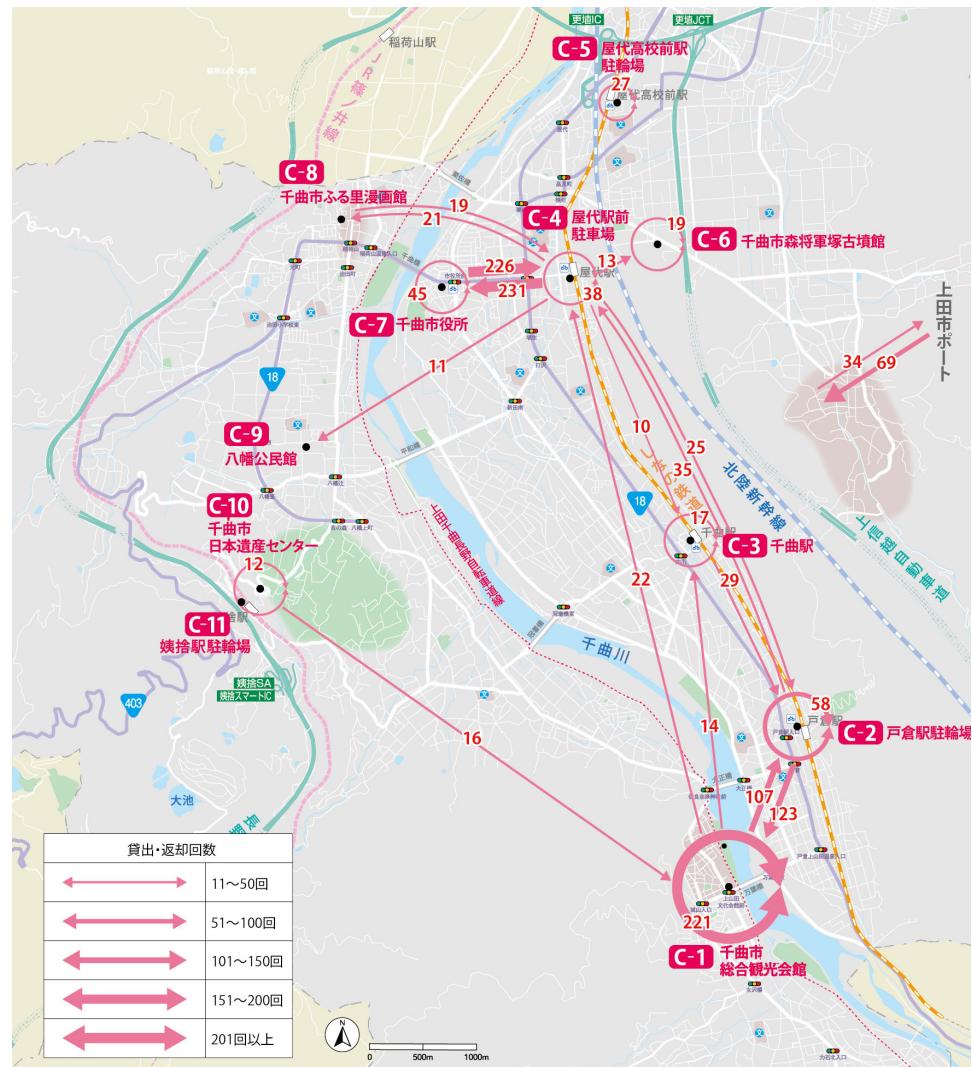
6) サイクルポート間移動回数（千曲市）

◇千曲市の『ポート間の移動回数（双方向の合計）』は、「千曲市役所」 ⇄ 「屋代駅前駐車場」 が457回と最も多く、次いで「千曲市総合観光会館」 ⇄ 「戸倉駅駐輪場」 が230回と多い。千曲市・上田市間の広域移動は103回。

【サイクルポート間移動回数（双方向の合計）】

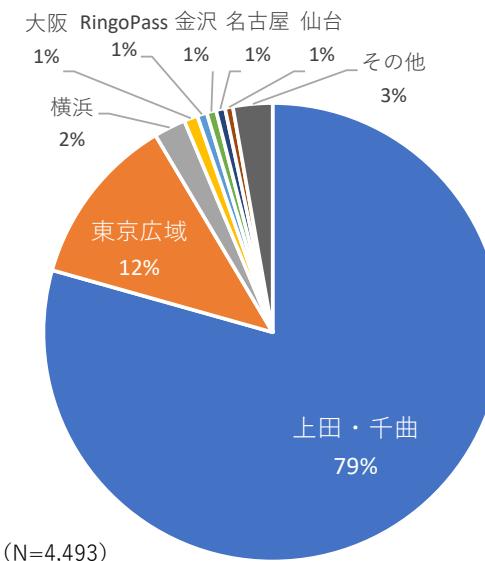


【サイクルポート間移動回数（片道）】



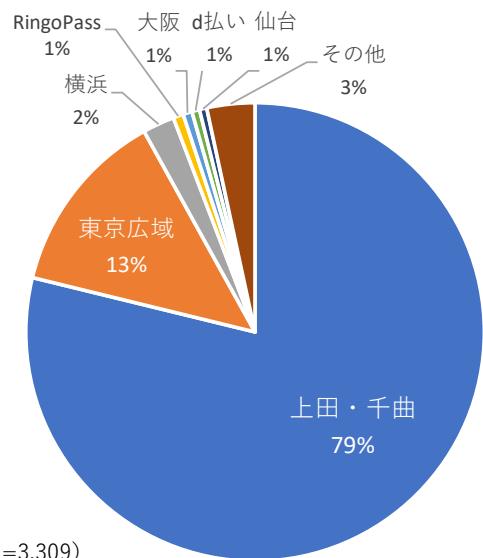
- ◇両市合計の『登録地別利用者数』では、
「上田・千曲」が79%と最も多く、
次いで「東京広域」が12%と多い。
- ◇都市別では、上田市の「東京広域」が
13%と、千曲市に比べて4ポイント多い。

【上田市・千曲市における合計の登録地別利用者数】



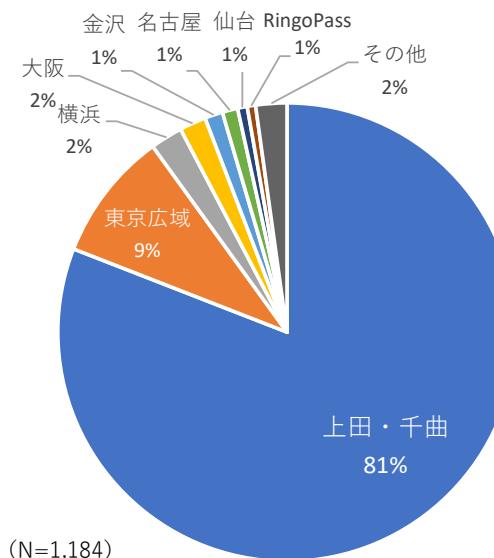
(N=4,493)

【上田市の登録地別利用者数】



(N=3,309)

【千曲市の登録地別利用者数】



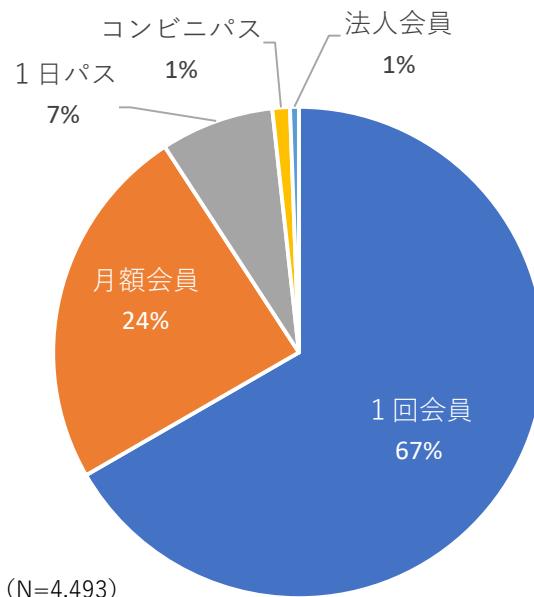
(N=1,184)

8) 利用者種別利用者数

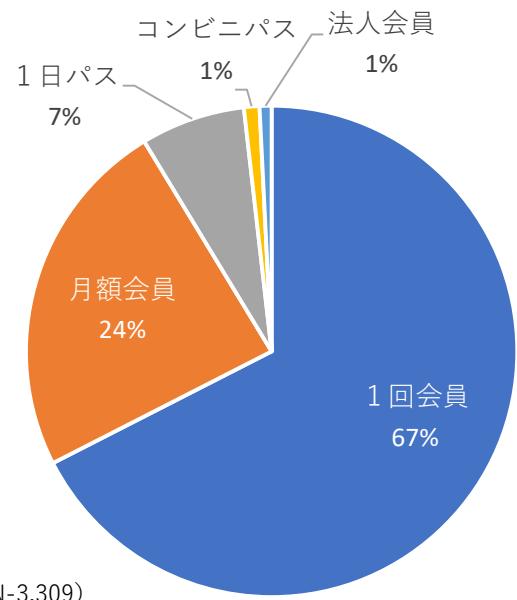
32

- ◇両市合計の『利用者種別利用者数』では、「1回会員」が67%と最も多く、次いで「月額会員」が24%と多い。
- ◇都市別では、上田市、千曲市ともに「1回会員」が最も多いものの、月額会員も1/4程度と、定期利用も発生。

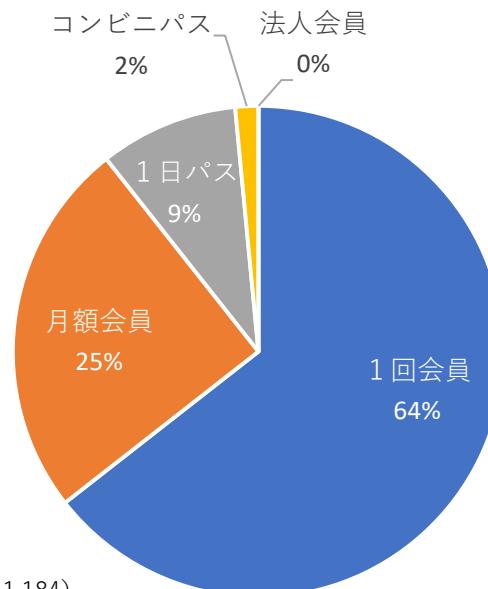
【上田市・千曲市における合計の利用者種別利用者数】



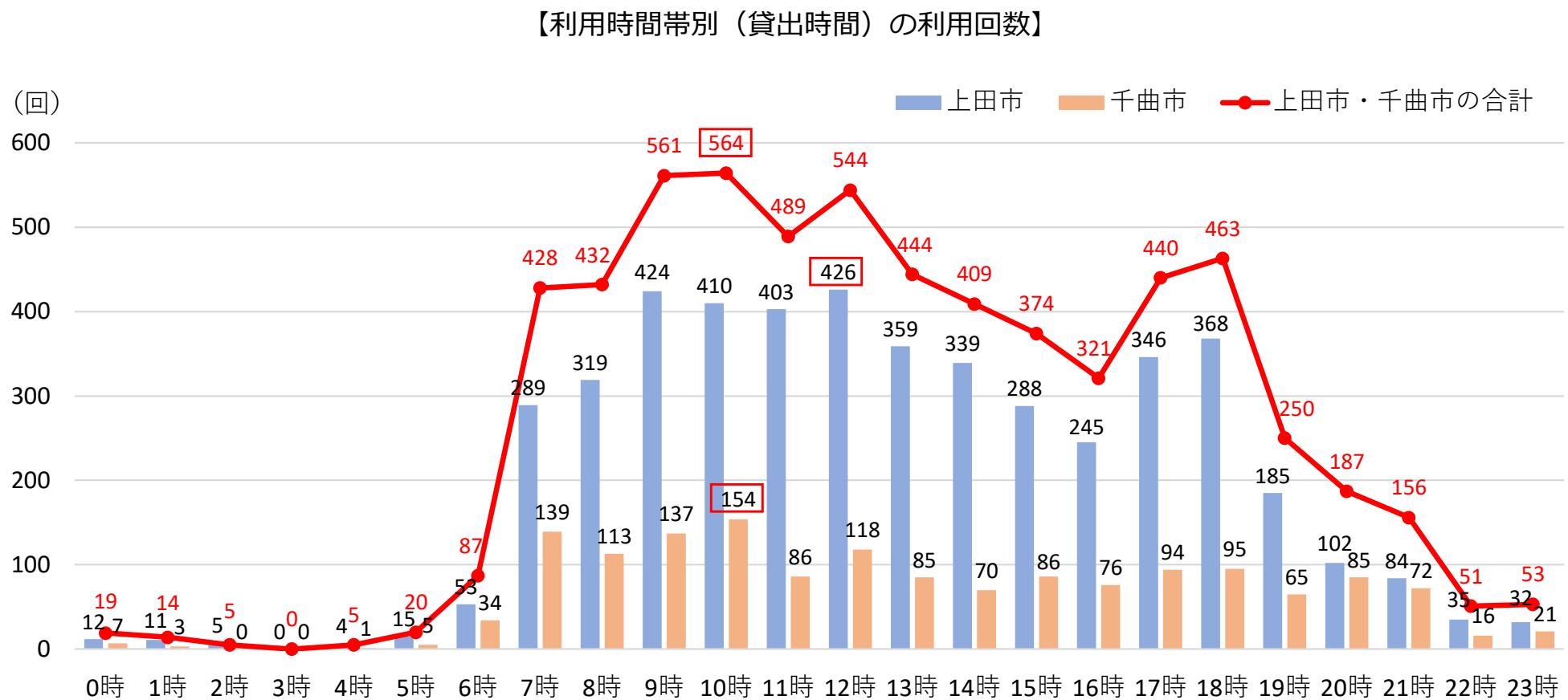
【上田市の利用者種別利用者数】



【千曲市の利用者種別利用者数】



- ◇両市合計の『利用時間帯別（貸出時間）の利用回数』では、「10時台」が564回と最も多い。
- ◇都市別では、上田市では「12時台」の利用が426回が最も多く、千曲市では「10時台」の利用が154回が最も多い。



4. 効果検証



◇社会実験の効果を検証するために、「利用者アンケート調査」「GPS調査」「再配置・バッテリー交換実態調査」を実施。

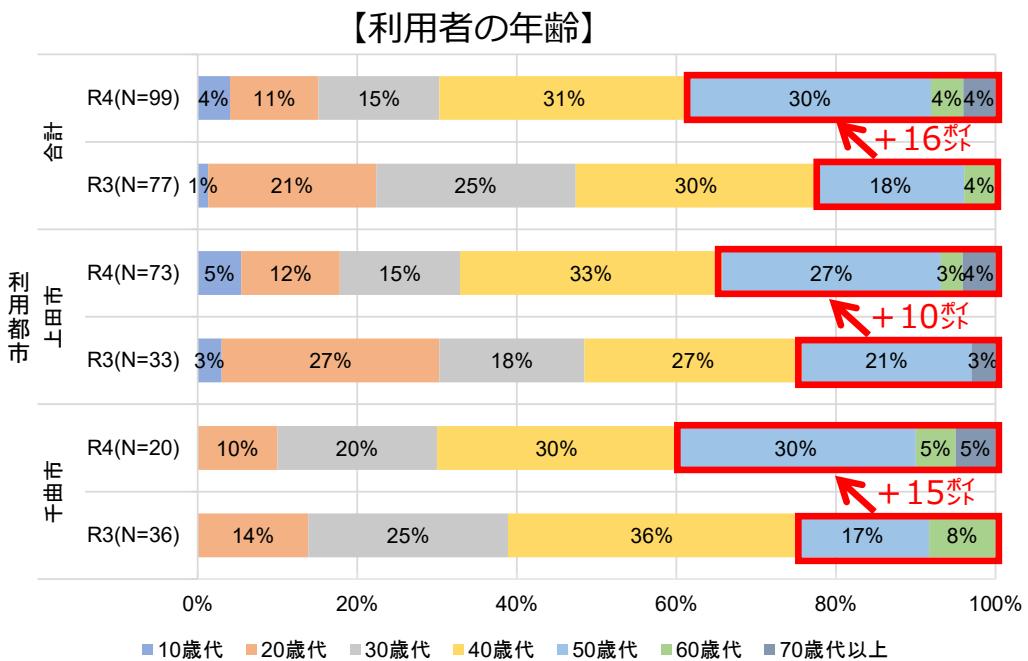
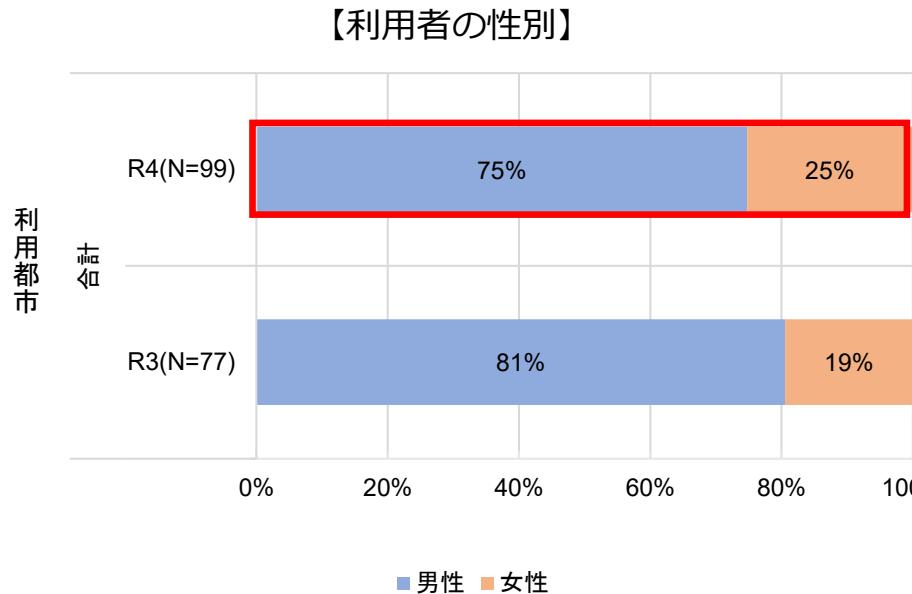
【社会実験における主な効果検証調査】

調査項目	調査対象	調査方法	調査期間	配布・回収数
1) 利用者アンケート調査	ドコモバイクシェアアプリ登録者（上田・千曲エリア）	WEB回答フォームをアプリプッシュにより配信	R4.11.11～11.27	配布数：682名 回答数：99件
2) GPS調査	シェアサイクルの利用者	シェアサイクルに搭載するGPSの緯度経度を使用	①自転車通過交通量： R4.10.1～10.31 ②滞留箇所・滞留時間調査 R4.10.1～10.31	利用者数： ①②920名
3) 再配置・バッテリー交換実態調査	運営事業者	運営事業者による再配置記録、バッテリー交換記録を使用	R4.7.1～12.18	—

① 利用者の性別・年齢

※利用都市別で集計

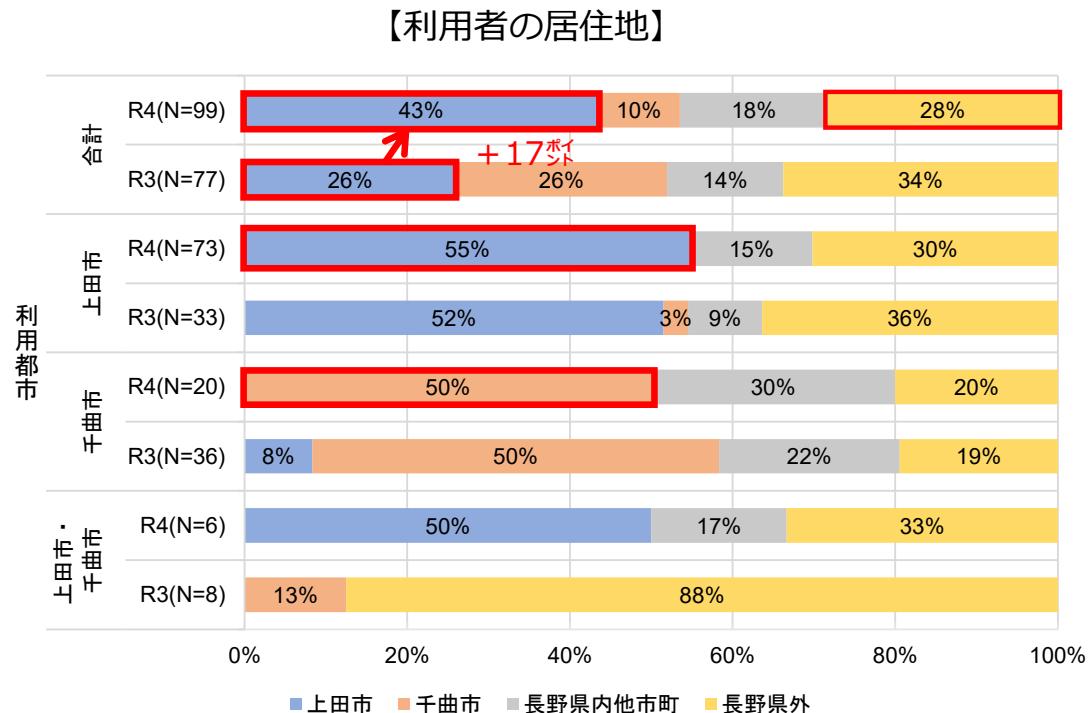
- 『性別』では、「男性」が75%を占める。
- 『年齢』の合計では、50歳代以上が16ポイント増加。
- 都市別では、50歳代以上が、上田市で10ポイント、千曲市で15ポイント増加。



②利用者の居住地

- ◇R4年度合計では、「上田市」が43%と最も多く、昨年度から17ポイント増加。次いで「長野県外」が28%と多い。
- ◇都市別では、上田市、千曲市とともに自身の居住地での割合が約5割を占める。
- ◇「長野県内他市町」では、長野市の利用者が11件と最も多く、「長野県外」では、首都圏の利用者が19件と最も多い。

※利用都市別で集計



【居住地（市町村名）】

市町村名	件数
長野市	11
佐久市	2
安曇野市	1
東御市	1
立科町	1
坂城町	1
須坂市	1

【居住地（都道府県名）】

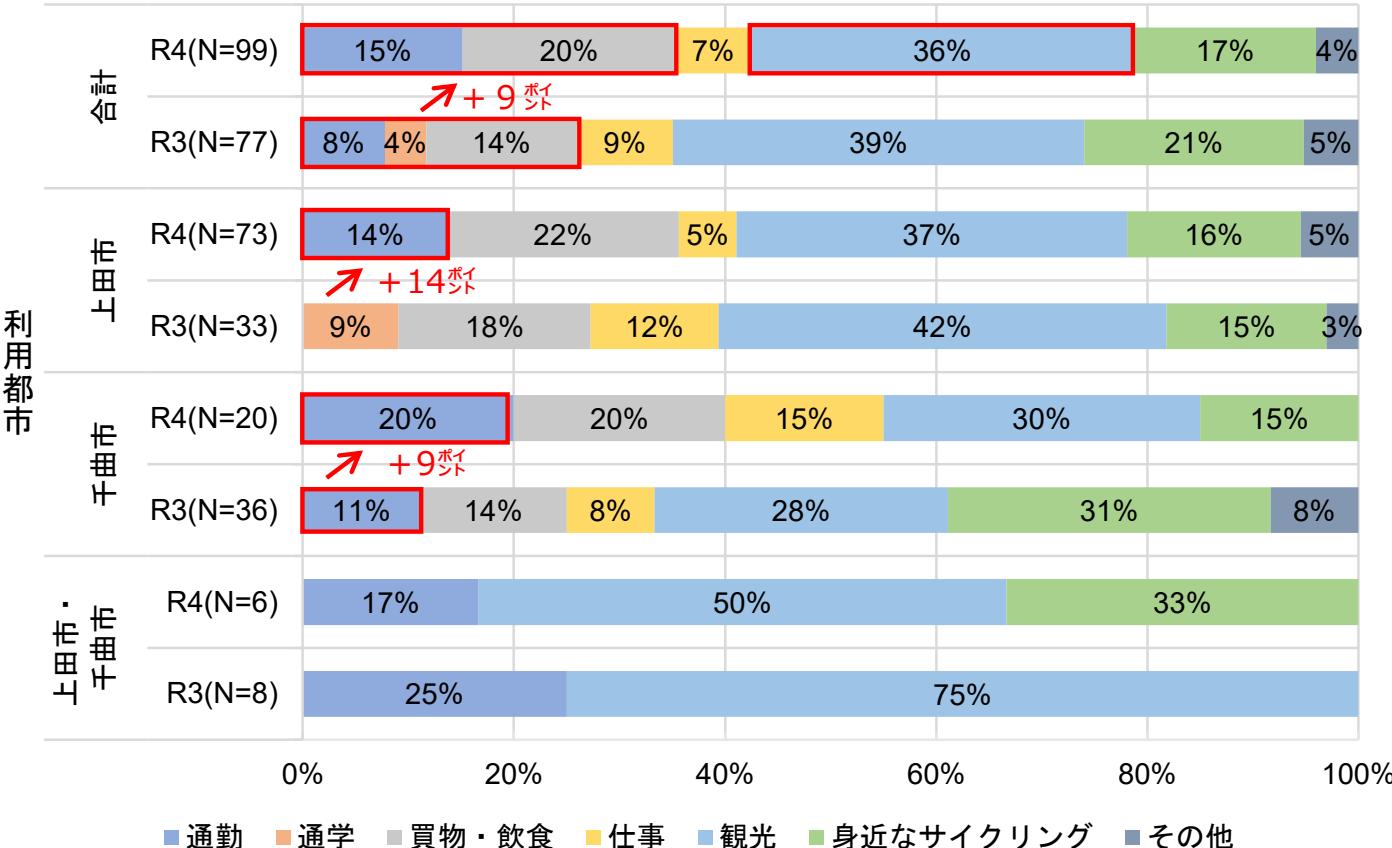
市町村名	件数
埼玉県	7
東京都	5
神奈川県	5
千葉県	2
愛知県	2
山口県	1
宮城県	1
石川県	1
大阪府	1
茨城県	1
京都府	1
新潟県	1

首都圏

③利用者の利用目的

- ◇R4年度合計では、「観光」が36%と最も多い。また、「通勤」「通学」「買い物・飲食」の日常利用が9ポイント増加。
- ◇都市別では、上田市で「通勤」が14ポイント、千曲市で「通勤」が9ポイント増加。

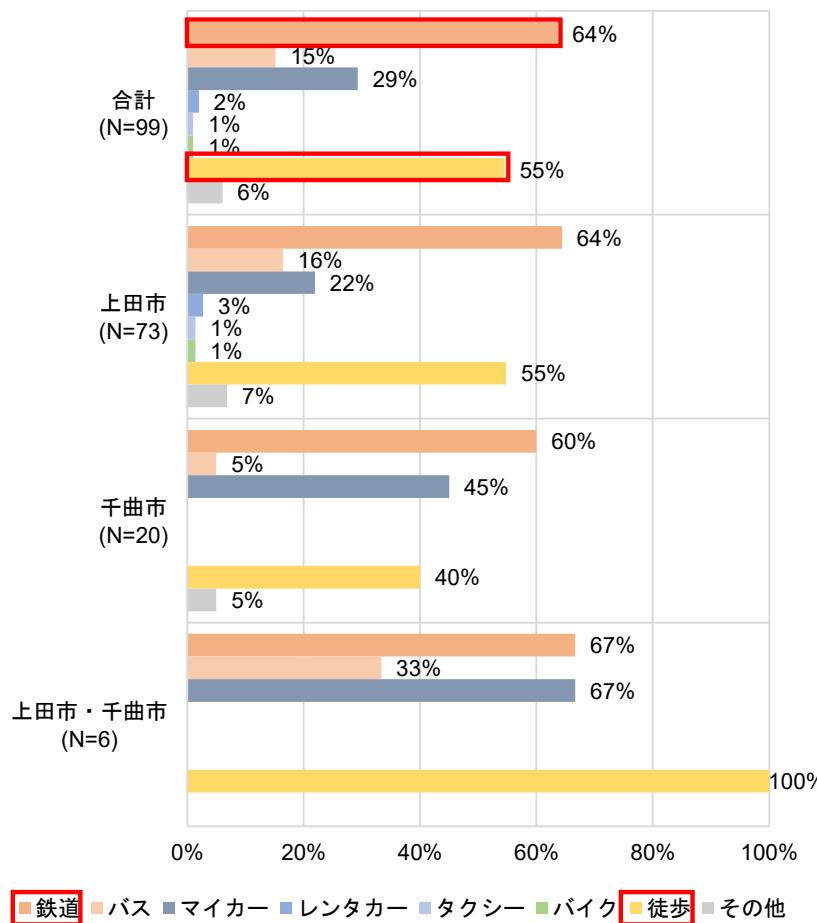
【利用者の利用目的】



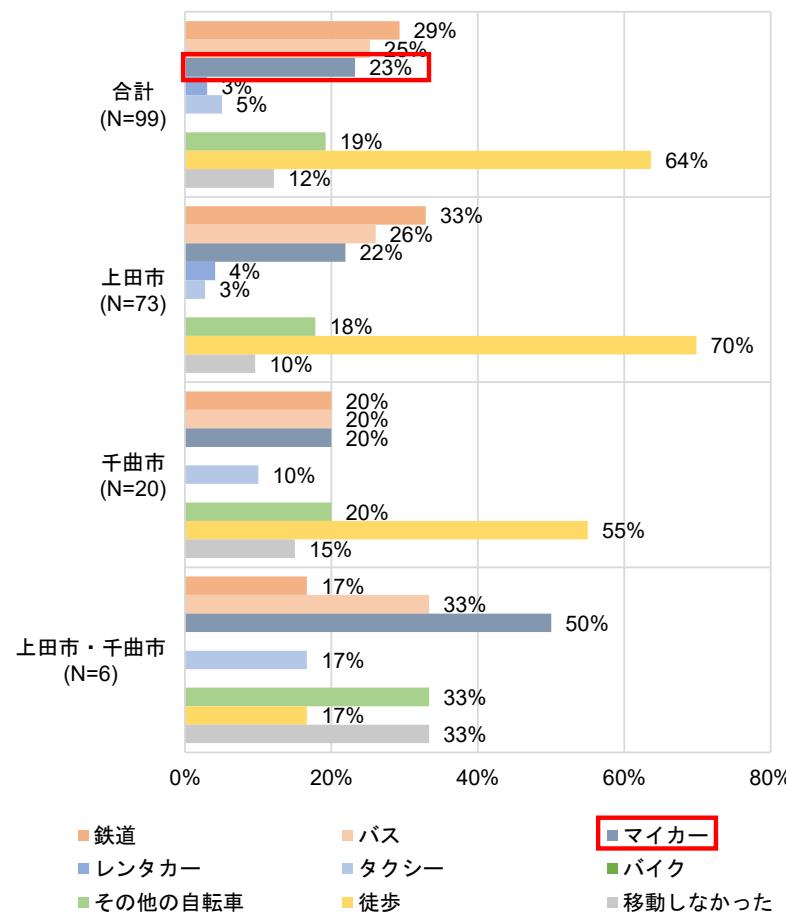
④乗り継ぎ利用・他交通手段からの乗り換え

- 『シェアサイクル利用前後での交通手段』のR4年度合計では、「鉄道」が64%と最も多く、次いで「歩く」が55%が多い。
- 『シェアサイクルがなかった場合の交通手段』のR4年度合計では、「歩く」が最も多いものの、「マイカー」からの乗り換えも23%発生。

【シェアサイクル利用前後での交通手段（乗り継ぎ利用）】



【シェアサイクルがなかった場合の交通手段】



【参考】シェアサイクル利用によるCO₂削減効果

- ◇アンケート調査結果によるマイカーからシェアサイクルへの転換割合、及びシェアサイクルの総走行距離（10月分）を用いて、CO₂削減量を試算。
- ◇この結果、社会実験期間中のCO₂削減量は297.6kgとなり、スギの木21本分のCO₂削減効果があったと試算。



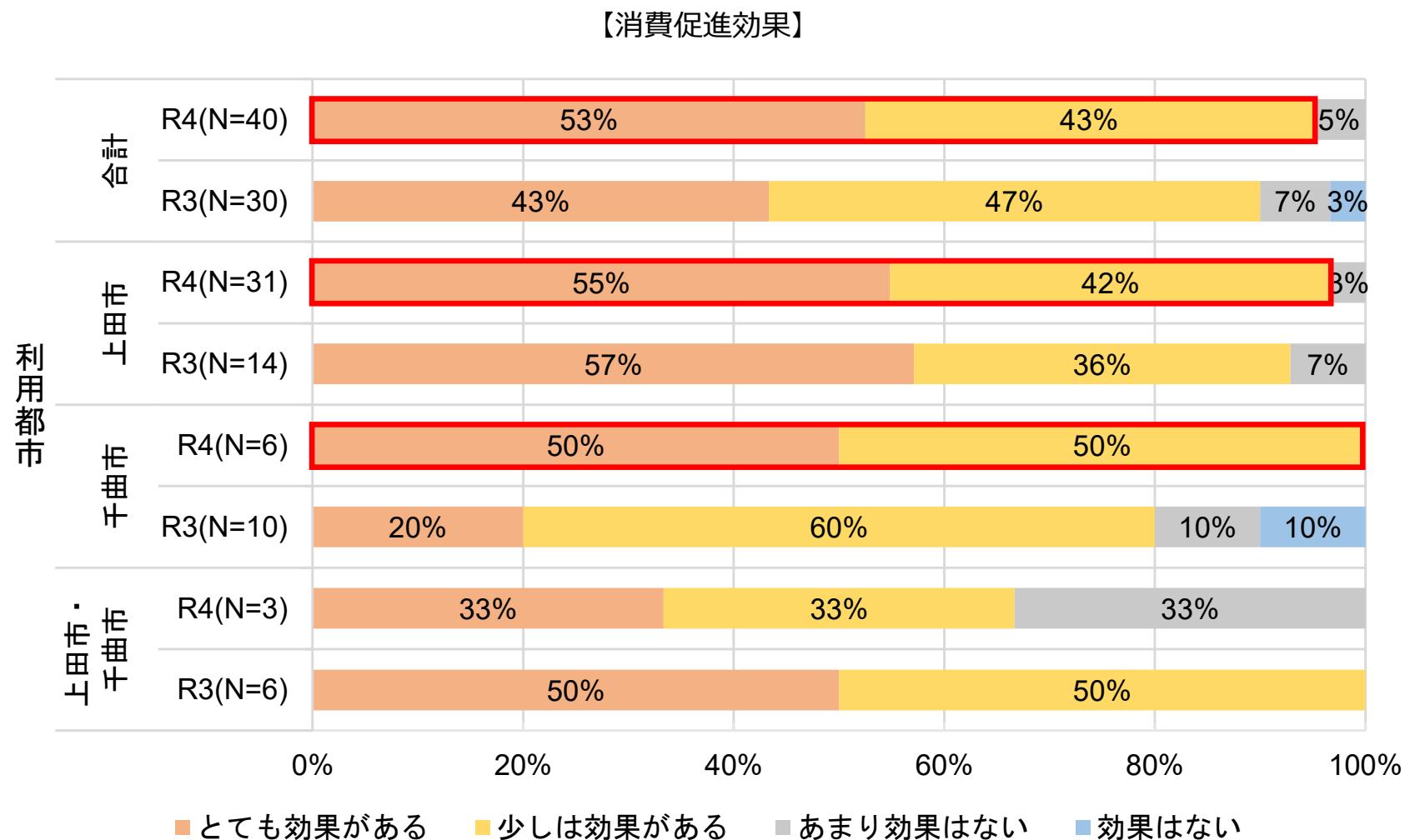
<試算の考え方>

- ①マイカーからシェアサイクルへの転換割合：22%（利用者アンケート結果より）
- ②シェアサイクルによる総走行距離（10月）：1903.4km（GPS調査結果より）
- ③①の割合でマイカーからシェアサイクルに転換したと仮定した場合の移動距離（10月）
$$\text{③} = \text{①} \times \text{②} = 418.7\text{km}$$
- ④CO₂排出原単位 自家用車131g/km・人、電動アシスト自転車 2g/km・人（国土交通省資料より）
- ⑤自家用車でのCO₂排出量 $\text{③} \times \text{④} = 54.9\text{kg}$
- 電動アシスト自転車でのCO₂排出量 $\text{③} \times \text{④} = 0.8\text{ kg}$
- ⑥シェアサイクルへの転換によるCO₂排出量の削減量（10月の場合）
$$54.9\text{ kg} - 0.8\text{ kg} = 54.1\text{ kg}$$
- ⑦仮に10月以外も10月の走行距離と同様と仮定した場合、7月～12月中旬 = 5.5ヶ月
社会実験期間中に $54.1\text{kg} \times 5.5\text{ヶ月} = 297.6\text{kg}$ のCO₂削減効果があったと試算

※スギ1本あたりの1年のCO₂吸収量が約14kgと言われているので、スギ21本分のCO₂削減効果があったと推計。

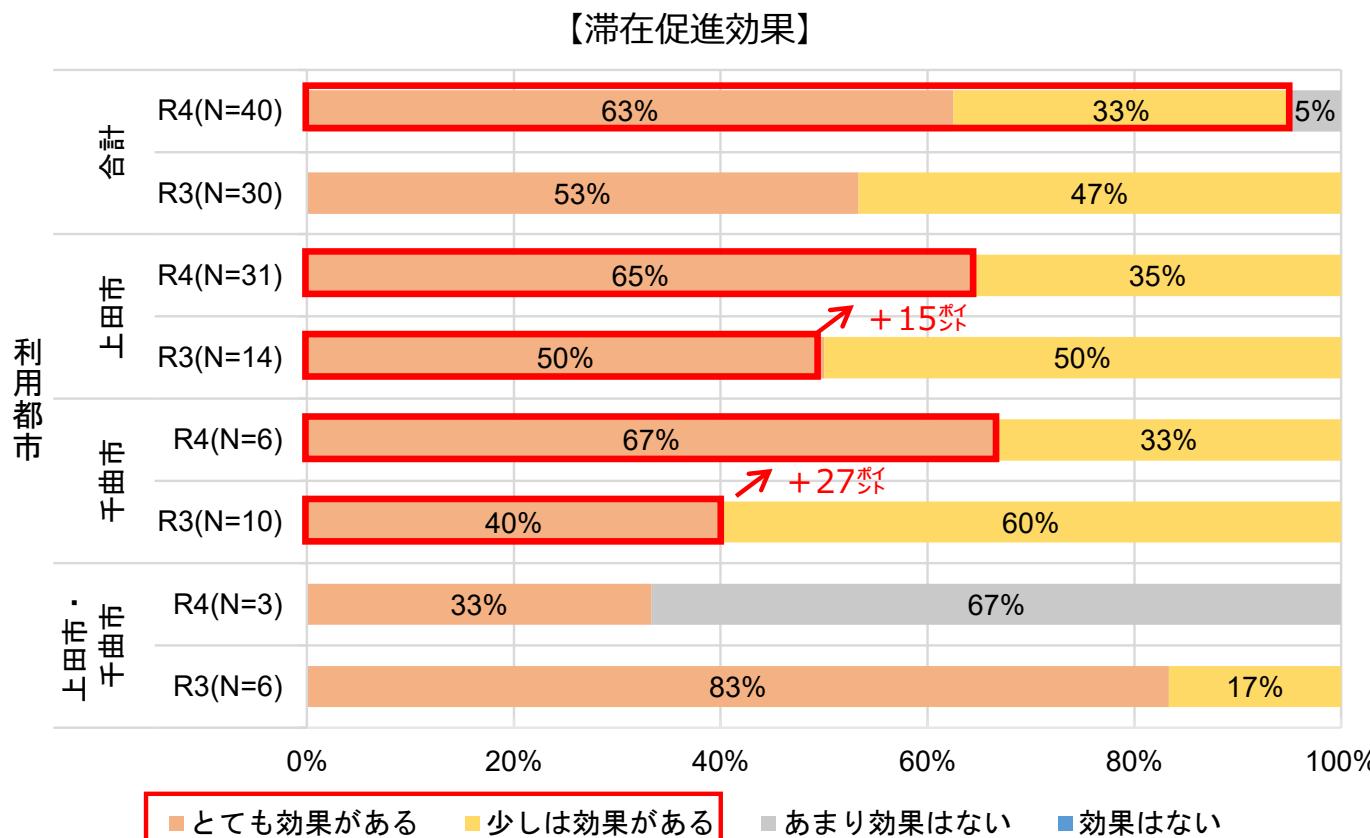
⑤消費促進効果

◇『消費促進効果』のR4年度合計では、「とても効果がある」「少しは効果がある」が96%を占め、両市ともに9割以上が効果ありと回答。



⑥滞在促進効果

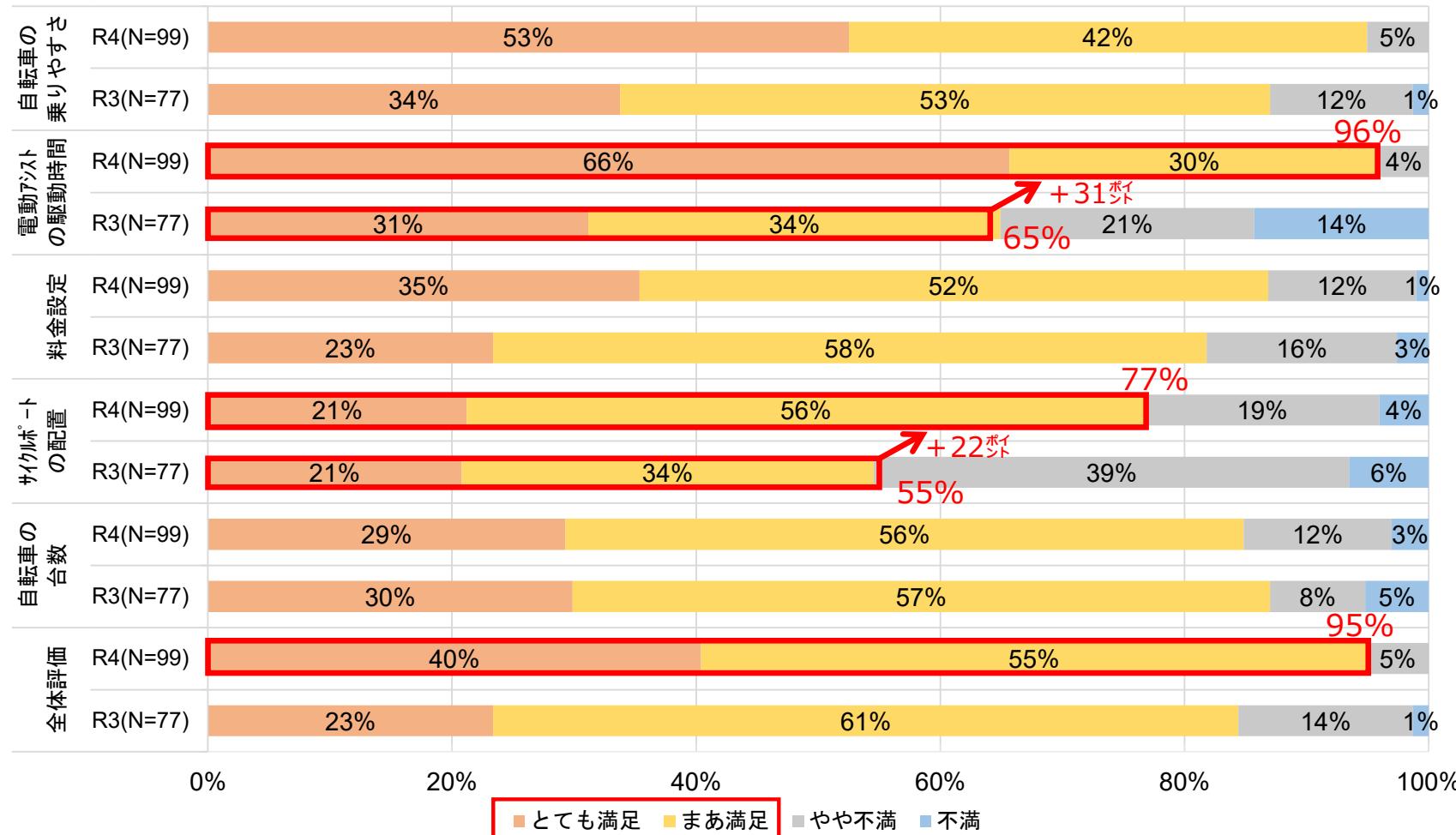
- ◇『滞在促進効果』のR4年度合計では、「とても効果がある」「少しは効果がある」が96%を占め、都市別では、上田市、千曲市ともに「とても効果がある」「少しは効果がある」が100%。
- ◇昨年度と比較すると、「とても効果がある」は上田市が15ポイント増加、千曲市が27ポイント増加。



⑦社会実験の評価

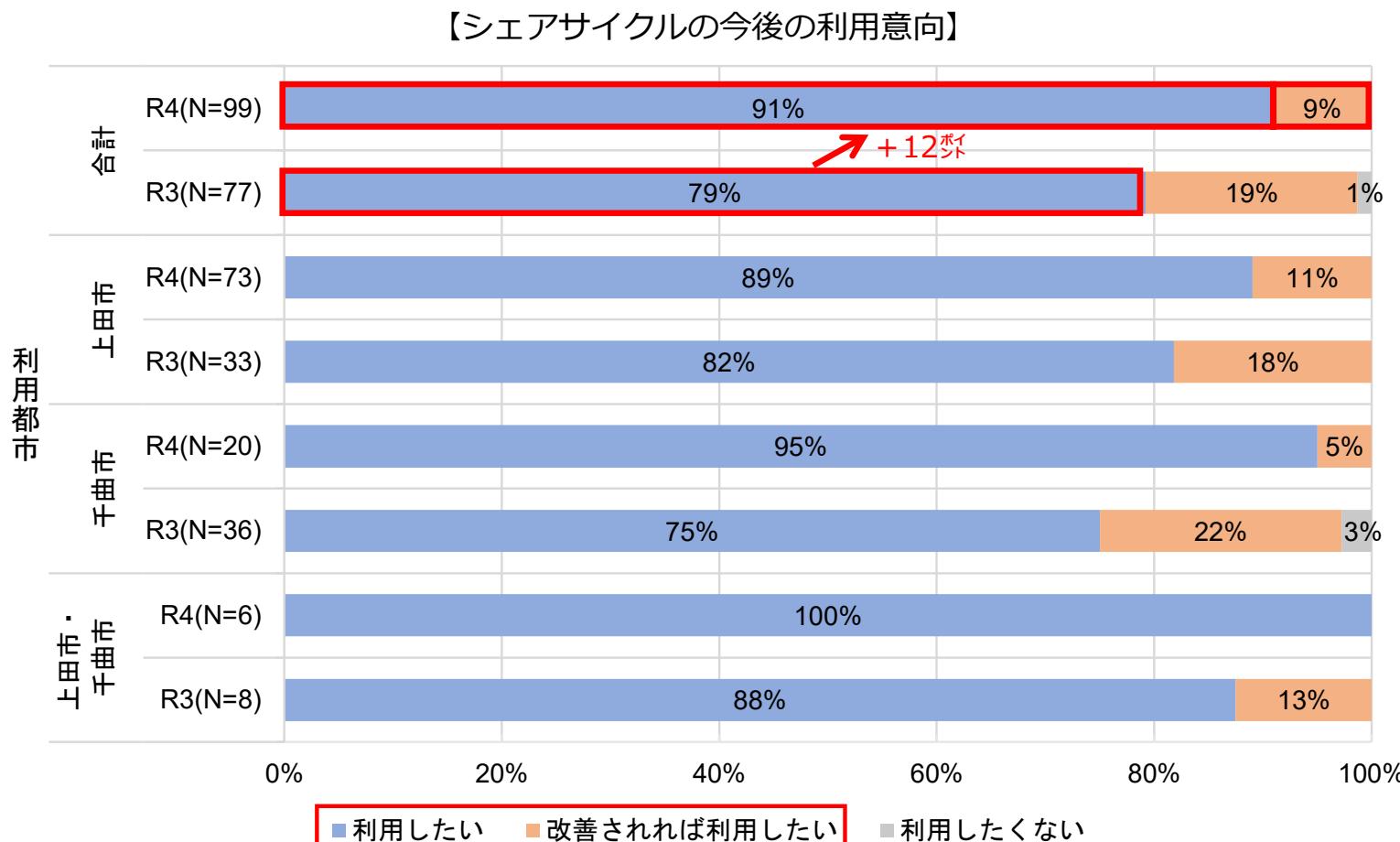
◇『社会実験の全体評価』では、「とても満足」「まあ満足」の合計が95%と満足度が高い。昨年度評価と比較し、『電動アシストの駆動時間』は31ポイント増加し、『サイクルポートの配置』は22ポイント増加。

【社会実験の評価】



⑧今後の利用意向と改善要望

- ◇ 『今後の利用意向』のR4年度合計では、「利用したい」「改善されれば利用したい」が100%を占め、昨年度に比べ「利用したい」が12ポイント増加。
- ◇ 「改善されれば利用したい」の改善要望は少ないものの、「利用したいときに自転車が無い」や「近くにポートが欲しい」などの意見もある。



5. まとめ



○昨年度に比べてシェアサイクル利用が増加

- 令和3年度と比較すると、利用回数としては上田市で4.3倍（4,754回）、千曲市では1.2倍（1,562回）に増加。登録者数も、両市の合計では1.6倍（1,097人）に増加。
- 主に千曲川サイクリングロードを利用した上田市・千曲市間の広域移動も、令和3年度比で1.6倍（103回）に増加。

○日常目的のシェアサイクル利用が増加

- 令和3年度と比較すると、上田市の通勤利用が14ポート増し、千曲市の通勤利用が9ポート増するとともに、買物・飲食のような日常利用が増加。
- 上田市では、中央公民館ポートから昼食時間に一時利用してランチを楽しむなど、身近な移動手段としての利用が増加。

○シェアサイクルの満足度が向上

- 社会実験の全体評価では、「とても満足」「まあ満足」の合計95%と高い評価を得た。
- 令和3年度と比較すると、電動アシストの駆動時間が31ポート増、サイクルポートの配置は22ポート増と、昨年度評価が低かった項目の満足度が向上。
- 「消費促進」「滞在時間の増加」に効果ありと評価されており、移動手段としてだけでなく、地域での消費拡大、賑わい創出などの経済効果にも寄与する可能性を確認した。

○シェアサイクルを通したゼロカーボン化への貢献

- 太陽光発電パネルや非接触充電ポートの整備により、自然エネルギーを活用した電動アシスト自転車の充電やバッテリー交換の効率化を図り、ゼロカーボン化を推進。
- マイカーからシェアサイクルへの乗り換えも発生（23%）するなど、環境に配慮した移動手段への転換を生むきっかけになることを確認した。

○サイクルポートの適正配置の検討

- ・上田市では、別所温泉や塩田平などの日本遺産エリアにポートを新設したことで、移動範囲が拡大したが、利用が少ない上田原駅ポートなどもあるため、目的地となる塩田平の日本遺産構成要素（塩田の館、山王山公園、前山寺等）にポートを設置することが考えられる。また、まちなかでは、海野町商店街周辺での通行が多いものの、付近にポートがないため、商店街周辺にポートを新設することで、更なる回遊性の向上を図ることが考えられる。
- ・千曲市では、戸倉上山田温泉や屋代・市役所周辺での通行が多く、戸倉上山田温泉での滞在時間増、回遊性向上を図るために、温泉街でポートを新設することが考えられる。また、幹線道路沿線でのポート設置など、市民や来街者の目に触れやすい場所にポートを新設し、利用促進を図ることが必要。

○広域連携の可能性を検討

- ・しなの鉄道沿線では、上田市と千曲市の間に位置する坂城町や、R4.11～シェアサイクル事業がスタートした東御市があり、北部には県庁所在地の長野市があるため、沿線地域でのシェアサイクル導入エリアの拡大やポート新設などを検討し、しなの鉄道沿線の回遊性向上を図ることが考えられる。
- ・また、しなの鉄道や上田電鉄などの鉄道事業者と連携した1日パスの販売拡充など、しなの鉄道沿線地域でのMaaSの展開を見据えた検討が必要（Ticket QRによる1日パス販売など）。

○継続的な事業運営と付加価値の創出

- ・行政支出（長野県補助含む）及び利用料金収入により事業を実施したが、地域に根差した公共交通としてシェアサイクル事業を継続するために、公民連携を継続するとともに、事業収入の増加に向けた取組が必要。
- ・また、事業の採算性だけではなく、市民の健康増進、環境負荷の低減、回遊性の向上など、シェアサイクル事業が地域に与える付加価値を創出し、見える化していくことが必要。